

一般財団法人 黎明郷

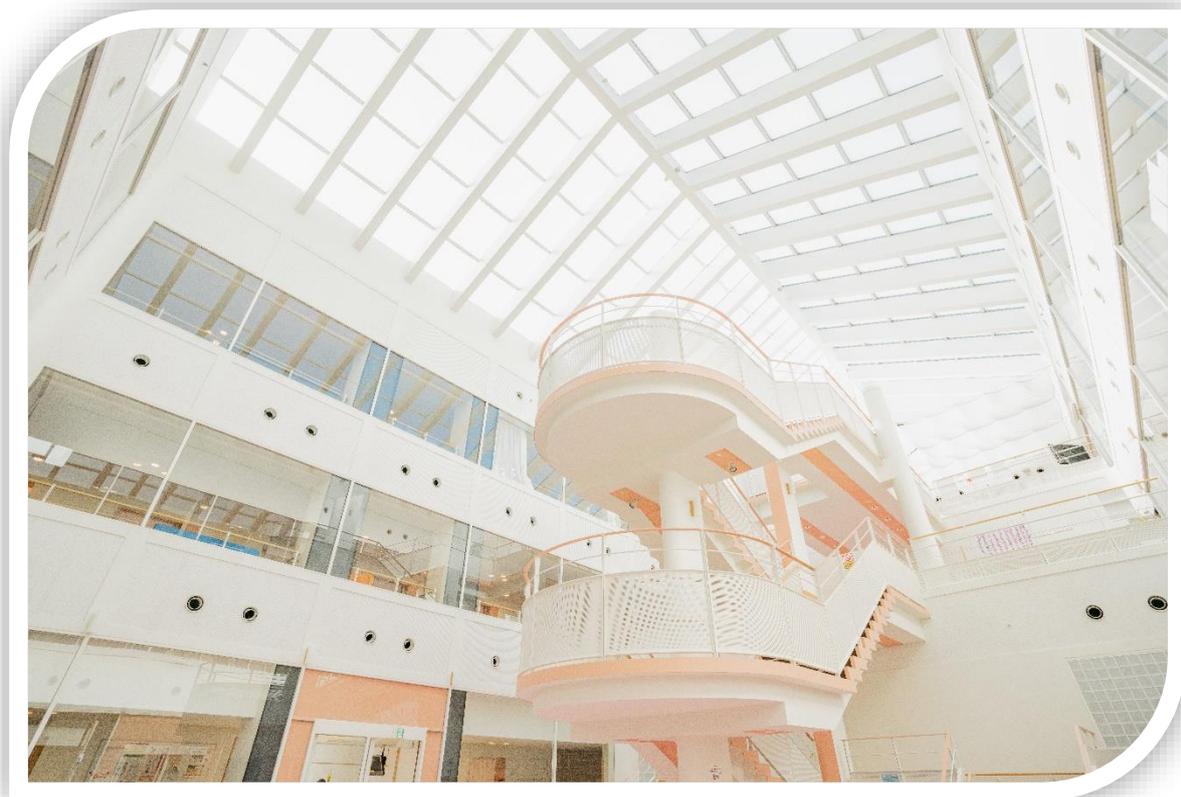
弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

Hirosaki Stroke and Rehabilitation Center

年報

第11号

2023.4~2024.3



一般財団法人 黎明郷 理念

質の高い医療・リハビリテーションを実践し

地域社会の保健医療福祉に貢献します

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 基本方針

- ◆地域に開かれた病院として脳卒中医療に貢献します
- ◆活発な地域連携（病病連携・病診連携）を展開します
- ◆最新かつ最適な医療とリハビリテーションを提供します
- ◆チーム医療により自立への支援に努めます
- ◆安全に配慮し、快適な入院環境作りを目指します
- ◆最新の脳卒中医療情報を発信します

目 次

巻頭言	院長 鎌田 孝篤	1
施設概要・沿革		2
機構図		3
役員名簿（理事・監事）		4
評議員名簿		5
職員数		6
診療実績（入院患者数等、検査件数）		7
脳ドック・訪問リハビリ実績		9
研修認定施設		10
専門医数		11
実習受入状況		12
財団事業		13
青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会		13
青森県成人・老人リハビリテーション施設協会		14
脳卒中市民公開講座		15
学術報告		16
学会発表		16
論文発表 等		21
委員会報告		22
医療安全管理委員会		22
医療器材管理委員会		28
感染対策委員会		31
栄養管理委員会		35
褥瘡対策委員会		38
臨床検査適正化委員会		42
薬事審議委員会		44
診療記録管理委員会		47
臨床倫理委員会		50
倫理審査委員会		51
衛生委員会		53
部署代表者委員会		56
教育研修委員会		58
施設運用委員会		60
広報委員会		62
患者サービス委員会		64
レクリエーション委員会		70
編集委員		71

巻 頭 言

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 院 長 鎌 田 孝 篤

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター年報第11号（令和5年度）が発刊の運びとなりました。

新型コロナウイルス感染症は令和5年5月に5類感染症となり制限が緩められました。感染は収束することなくその後も令和5年9月の9波、令和6年1月には10波とみられるピークがありました。一時期収まっていたインフルエンザも流行しています。そのなかで令和5年9月2日青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会が開催され2つのご講演、『家族が行う高次脳機能障害者就労支援「生生学舎アダージョ」就労支援B型と自立訓練（生活訓練）』（NPO法人いわて高次脳機能障害者の会イーハトーヴ代表 生生学舎アダージョ施設長 堀間幸子先生）、『高次脳機能障害のある方への就労支援について』（青森障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 西脇昌宏先生）を頂きました。令和5年10月14日青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会が開催され、社会医療福祉法人健和会 健和会病院総合リハビリテーションセンター センター長 福村直毅先生による講演『幸せな嚥下治療～食べられる、元気になる！』を頂きました。財団主催の脳卒中市民講座は令和5年10月29日、テーマ：『ためになる！ 「あたらない」 ためのお話』で開催されました。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンターの令和5年度も救急紹介患者を断らず、脳卒中類縁疾患も広く受け入れ、回復期リハ病棟の退院調整を積極的に行なうことなどを継続しています。病院全体の病床稼働率は91.4%とほぼ目標達成となりました。回復期リハビリテーション病棟指数のなかでは一日一人あたりのリハ提供単位数は6.82と前年度を上回っています。

検査・手術件数はほぼ前年度に匹敵する数値となっています。脳ドックは減少、訪問リハビリ実績は前年度よりやや減少となっています。

新入職員歓迎会、忘年会は4年連続で中止となりましたが、納涼会は2回に分けて開催できました。

令和5年度は日本医療機能評価機構による病院機能評価受審に向け準備が精力的に行われました。令和4年12月に立ち上げたプロジェクトチーム（今基チームリーダー）が中心となり自己評価シートとの格闘、模擬審査を経て令和6年3月の本審査となりました。一連の準備を通じて当センターの現状、課題、今後の対策が明らかになり非常に有意義だったと思います。令和6年7月に主たる機能種別：リハビリテーション病院、副機能種別：一般病棟1で認定に至っています。

生成AIによる変革により今後社会や医療がどのように変わっていくのか予想はつきません。そのような中で令和5年度の年報は当センターの診療や情報発信の現状を示す指標であり、奮闘した職員の貴重な記録です。今後に向けて、十分に吟味し活用されることを願っております。

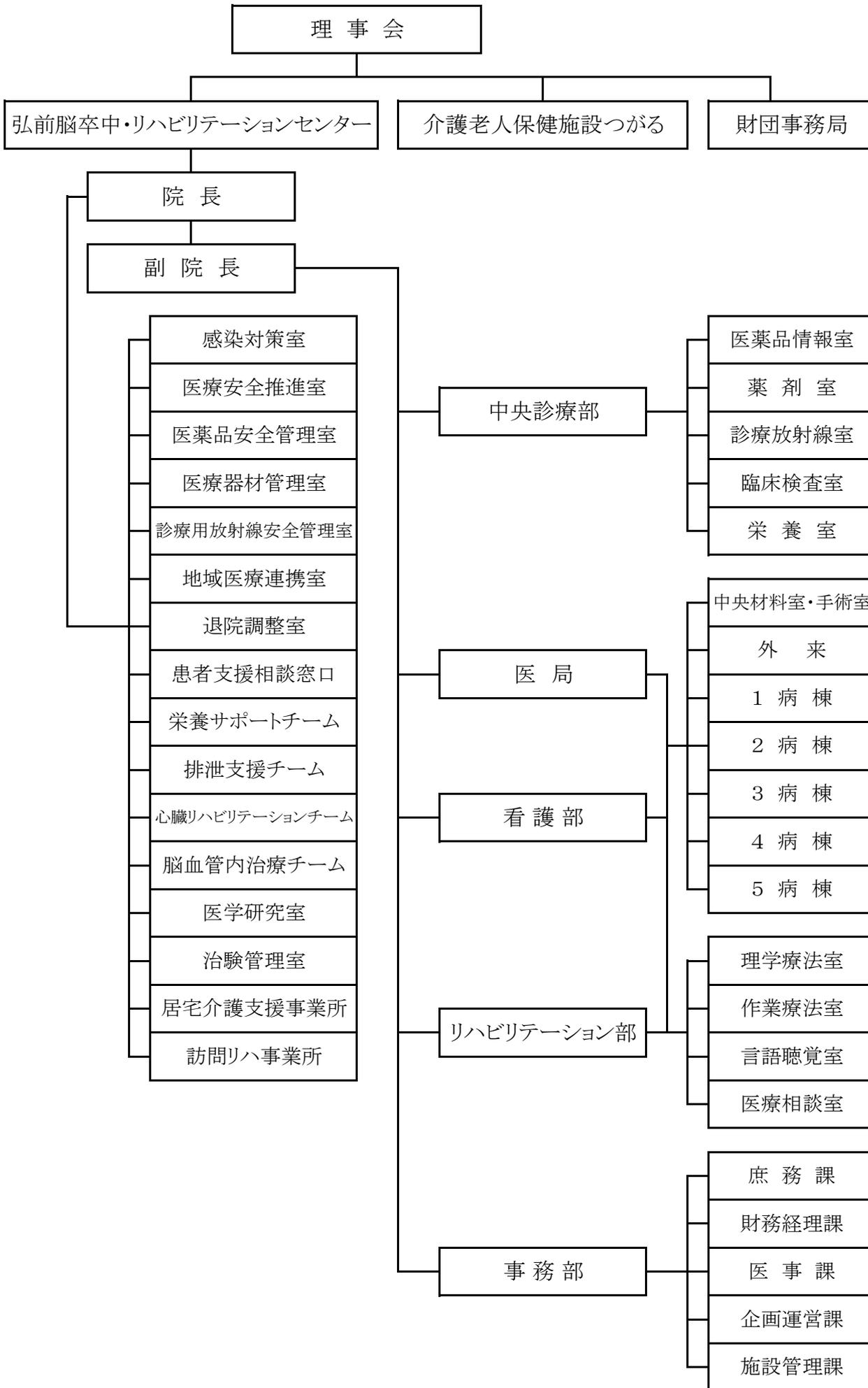
年報を担当した広報委員会の佐々木都子委員長をはじめ、各委員諸氏の労に敬意を表したいと存じます。

施設概要

年 月	内 容
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4階 敷地面積 19,872.80 m ² 建築延面積 11,414.94 m ² 一般病棟 35床 回復期リハビリテーション病棟 110床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科
平成23年 4月	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター開設（名称変更）（248床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4階 敷地面積 25,828.95 m ² 建築延面積 18,579.55 m ² 一般病棟 79床 回復期リハビリテーション病棟 169床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、歯科
平成25年 4月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、神経内科、放射線科、歯科
令和2年 6月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、神経内科、放射線科、歯科
令和5年 4月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、脳神経内科、放射線科、歯科

沿 革

年 月	内 容
昭和41年 4月	青森県知事より財団法人黎明郷の設立認可
昭和41年 7月	碓ヶ関村より診療所の委託を受け診療を開始（10床）
昭和42年 4月	黎明郷リハビリテーション病院開設（60床、昭和57年7月248床）
昭和60年 9月	黎明郷リハビリテーション病院に高血圧センター併設
平成15年 4月	介護老人保健施設つがるを開設（黎明郷リハビリテーション病院に併設）
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145床）内科・神経内科・脳神経外科・リハビリテーション科・整形外科
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院（103床）となる
平成23年 4月	弘前脳卒中センターと黎明郷リハビリテーション病院を統合し、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターを開設（248床） 開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院は閉院 碓ヶ関診療所（無床）を開設
平成24年 3月	碓ヶ関診療所閉所
平成25年 4月	財団法人から一般財団法人へ移行



役員名簿

令和6年3月31日現在

氏名	所属・職名等
保嶋 実 (顧問)	一般財団法人 黎明郷 前 理事長
高梨 信吾 (理事)	一般財団法人 黎明郷 理事長
奥村 謙 (理事)	済生会 熊本病院 心臓血管センター循環器内科 不整脈先端治療部門 最高技術顧問
富田 泰史 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 教授 弘前大学大学院医学研究科 臨床検査医学講座 教授 青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター センター長
花田 裕之 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 救急災害・総合診療医学講座 教授 弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター センター長
佐々木 真吾 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 准教授
玉田 友一 (理事)	元 玉田内科医院 院長
長尾 忠行 (理事)	平川市 市長
山田 年伸 (理事)	大鱈町 町長
谷津 大輔 (理事)	(株)青森銀行 常務執行役員 弘前地区営業本部長
佐藤 陽子 (理事)	元 青森県 環境生活部長
鎌田 孝篤 (理事)	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 院長
小林 正志 (理事)	一般財団法人 黎明郷 前 事務局長
一戸 治 (監事)	一戸治税理士事務所
鳴海 匠悦 (監事)	(株)青森銀行 執行役員 親方町支店長兼土手町支店長

評議員名簿

令和6年3月31日現在

氏名	所属・職名等
吉岡 利忠	前 学校法人 弘前学院 弘前学院大学 学長 医療法人 三良会 村上新町病院 院長
込山 稔	社会福祉法人 藤聖母園 理事
梅村 芳文	医療法人 芳真会 梅村医院 院長
畑山 亨	畑山医院 院長
葛西 聡	あすなろ法律事務所 弁護士
奈良岡 勇造	元 青森県生活環境部 理事
村田 大六	豊田地区町会連合会 会長
横山 篤	一般財団法人 黎明郷 介護老人保健施設つがる 施設長
萩井 譲士	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
清野 聡	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
岩田 学	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
樋口 三枝子	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 看護部長 一般財団法人 黎明郷 介護老人保健施設つがる 看護部長

職員数

※過去3年分について掲載

職 種	令和3年度	令和4年度	令和5年度
医 師	18	19	19
薬剤師	10	10	8
診療放射線技師	8	7	8
臨床検査技師	7	8	8
理学療法士	73	73	75
作業療法士	71	72	74
言語聴覚士	11	8	8
医療相談員	10	11	11
医療部助手	1	2	1
管理栄養士	5	5	5
看護師	165	167	161
准看護師	20	17	19
看護助手	47	44	42
歯科衛生士	2	2	2
介護支援専門員	2	2	2
事務員	45	45	47
合 計	495	492	490

各年度4月1日現在

診療実績 入院患者数

※過去3年分について掲載

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
延患者数（人）		83,002	78,658	81,534
病床数		248	248	248
病床稼働率（％）		91.7	86.9	91.4
一日平均患者数（日）	一般病棟	63	61	65
	回復期病棟	162	152	159
平均在院日数（日）	一般病棟	18.4	19.5	20.1
	回復期病棟	82.3	83.4	89.9
新患受入件数（件）	a. 救急車	584 (28.3%)	562 (29.9%)	579 (33.6%)
	b. 直接来院	1,481 (71.7%)	1,318 (70.1%)	1,144 (66.4%)
※ c. 救急車受入のうち入院（件） (c/a)		447 (76.5%)	408 (72.6%)	415 (71.7%)
一般病棟指標				
在宅復帰率		83.2%	78.5%	81.3%
医療・看護必要度 重症者割合		31.0%	21.6%	22.1%
回復期リハビリテーション病棟指標				
在宅復帰率		83.6%	80.8%	84.4%
新規入棟患者重症者割合〔A項目〕		— (※)	— (※)	— (※)
新規入棟患者重症者割合〔B項目〕		54.2%	55.0%	52.8%
重症患者回復割合（退棟時）		48.2%	55.3%	52.5%
回復期病棟延患者数（人）		59,574	56,153	58,727
実施リハ単位数		380,364	377,776	400,714
一日一人当たりリハ提供単位数		6.38	6.72	6.82

診療実績 検査・手術件数

※過去3年分について掲載

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
MR I		4,058	3,587	3,609
C T		3,713	3,331	3,501
単純C T撮影		3,645	3,101	3,259
超音波	頰動脈	2,689	1,214	1,177
	心臓	1,059	950	988
	経食道心臓	167	113	148
	その他	119	6	5
	合計	4,034	2,283	2,318
A B I (脈波)		876	806	807
ホルター心電図		989	869	892
血管造影	脳血管造影	19	25	19
	頭頸部血管造影	—	4	1
	大動脈造影	1	—	0
	心臓カテーテル検査	0	13	11
	下肢血管造影	1	2	6
	合計	21	44	37
透視下検査	嚥下造影	52	42	21
	上部消化管造影	—	—	—
	透視のみ	—	11	5
	合計	52	53	26
内視鏡	内視鏡下嚥下機能検査	112	90	60
	内視鏡下胃瘻造設術	—	—	—
	胃瘻交換	1	—	—
	胃・十二指腸ファイバースコープ	1	—	0
	食道ファイバースコープ	1	1	1
	合計	115	91	61
血栓溶解療法 (t-P A)		25	18	28
頰動脈ステント留置術		11	12	5
経皮的脳血管形成術		2	2	0
経皮的脳血栓回収術		10	11	8
ペースメーカー移植・交換術		4	3	5
気管切開術		1	2	2
運動器リハビリテーション		46	89	84
心大血管疾患リハビリテーション		12	9	17
脳血管疾患リハビリテーション		1,332	1,214	1,197
廃用症候群リハビリテーション		41	38	44

脳ドック実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	0	5	3	20	15	20	26	29	24	20	6	6	174
令和4年度	3	2	7	13	21	14	20	24	21	17	10	0	152
令和5年度	0	8	4	13	22	14	8	8	6	5	11	10	109

※過去3年分について掲載

訪問リハビリ実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	206	188	213	209	198	197	219	233	209	209	207	233	2,521
令和4年度	233	219	256	236	226	227	206	209	209	198	196	234	2,649
令和5年度	203	212	224	211	215	217	231	215	190	183	207	209	2,517

※過去3年分について掲載

研修認定施設等

	認 定 学 会	認 定 期 間
1	日本脳卒中学会 一次脳卒中センター認定	2019. 9. 1～2021. 3. 31 2021. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2023. 3. 31 2023. 4. 1～2024. 3. 31
2	日本脳卒中学会専門医認定制度 研修教育施設	2013. 4. 1～2014. 12. 31 2015. 1. 1～2016. 12. 31 2017. 1. 1～2020. 3. 31 2020. 4. 1～2021. 3. 31 2021. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2023. 3. 31 2023. 4. 1～2024. 3. 31
3	日本リハビリテーション医学会認定研修施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2027. 3. 31
4	日本臨床栄養代謝学会NST稼働認定施設 (旧:日本静脈経腸栄養学会)	2014. 4. 1～2019. 3. 31 2019. 4. 1～2024. 3. 31
5	日本高血圧学会専門医認定施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2024. 3. 31
6	日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設	2013. 4. 1～2015. 3. 31 2015. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2019. 3. 31 2019. 4. 1～2021. 3. 31 2021. 4. 1～2023. 3. 31 2023. 4. 1～2025. 3. 31

専門医数

単位：人

資 格	計
日本呼吸器学会呼吸器専門医	1
日本アレルギー学会専門医	1
日本循環器学会認定循環器専門医	5
日本内科学会総合内科専門医	6
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医	5
日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医	1
日本脳神経血管内治療学会認定専門医	1
日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医	2
合 計	22

令和6年3月31日現在

※合計は延べ人数

実習受入状況

※過去3か年分について掲載

令和3年度	医局	薬剤室	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
				P T	O T	S T	M S W			
実人数 (単位：人)	39	2	135	45	31	15	7	4	5	283
延人数 (単位：人日)	477	98	937	356	565	248	63	50	10	2804

令和4年度	医局	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
			P T	O T	S T	M S W			
実人数 (単位：人)	35	144	42	33	49	2	2	6	313
延人数 (単位：人日)	390	682	278	752	183	46	10	16	2357

令和5年度	医局	薬剤室	看護部	リハビリテーション部				栄養室	歯科 衛生士	事務	全体
				P T	O T	S T	M S W				
実人数 (単位：人)	34	1	147	37	29	62	1	2	12	7	332
延人数 (単位：人日)	415	52	1063	332	567	206	12	10	24	17	2698

財団事業(青森県委託事業)
 青森県高次脳機能障害支援拠点機関
 令和5年度事業活動報告

1. 青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会

開催日時：令和5年9月2日（土）14：00～16：00

開催場所：アウガ 5階 男女参画プラザ カダール AV 多機能ホール

参加者：78名 ※他、WEB視聴申込107名

講習会

『家族が行う高次脳機能障害者就労支援

「生生学舎アダージョ」就労継続支援B型と自立訓練（生活訓練）』

NPO法人いわて高次脳機能障害友の会イーハトーヴ代表

生生学舎アダージョ施設長 堀間 幸子 先生

『高次脳機能障害のある方への就労支援について』

青森障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 西脇 昌宏先生

※拠点機関支援コーディネーターによる医療福祉相談を同時開催

2. 青森県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業検討委員会

開催日時：令和5年7月28日（金）17：30～

開催場所：アウガ 5階 男女共同参画プラザカダール 研修室

出席者：15名

案件

1. 令和4年度事業報告について
2. 令和5年度事業計画について
3. 普及啓発活動
4. 調査事業
5. 青森県高次脳機能障害支援事業実績報告
6. 家族会「あつぷるメイト」近況報告

3. 相談件数

相談件数	相談者		
	本人	家族	その他
		17	17
就労支援	0	1	1
診断・治療	15	10	35
支援体制・家族会	0	2	1
その他	2	4	1

財団事業(事務局)

青森県成人・老人リハビリテーション施設協会

令和5年度事業活動報告

青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会

開催日時：令和5年10月14日(土) 15:15～16:30

開催場所：リンクステーションホール青森 5階 大会議室

参加者：32名 ※他、WEB視聴申込 60名

1. 講演

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長 岩田 学 先生

『しあわせな嚥下治療～食べられる、元気になる！』

講師：社会医療法人健和会 健和会病院

総合リハビリテーションセンター センター長 福村 直毅 先生

財団事業(主催)
脳卒中市民公開講座
令和5年度事業活動報告

「脳卒中市民公開講座2023」

共 催：特定非営利活動法人 日本高血圧協会
弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
弘前大学大学院医学研究科循環器腎臓内科学講座
協 賛：オムロンヘルスケア株式会社
開催日時：令和5年10月29日（日）14：00～16：00
開催場所：弘前市民文化交流館 大ホール（ヒロロ4階）
参加者：42名

テーマ：『ためになる！「あたらない」ためのお話し』

1. 講演

講演1

『脳卒中の内科治療、お教えします』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

内科 齋藤 新 先生

（日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、日本脳神経血管内治療学会認定専門医、他）

講演2

『脳卒中と喫煙 —変わりつつある喫煙習慣—』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

内科 高梨 信吾 先生

（日本呼吸器学会専門医、日本アレルギー学会専門医、他）

講演3

『予防しましょう！脳卒中・認知症 —まずは血圧管理から—』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

内科 目時 典文 先生

（日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、他）

2. パネルディスカッション

3. その他

- ・講師による個別相談会、病院スタッフによる相談コーナーの設置など

学会・研究発表（計73題）

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和5年4月24日	循環器代謝疾患を考える会 （日本ベーリンガーインゲルハイム）（弘前市）	糖尿病と脳梗塞～脳卒中に携わる専門医の立場から～	齋藤 新
令和5年5月26日	一般社団法人青森県作業療法士会 地域包括ケアシステムアドバンス研修会～地域ケア会議～（web開催）	・地域包括ケアシステムにおいて対象者の生活を捉える視点について ・対象者の生活行為の診方・分析の視点及び整理の仕方について	金谷 圭子
令和5年5月27日 ～5月28日	第34回青森県作業療法学会（弘前市）	麻痺側の自己管理不足に対する介入が排泄動作の介助量軽減につながった一症例	相馬 さくら 他
令和5年5月27日 ～5月28日	第34回青森県作業療法学会（弘前市）	両上肢に機能障害を有する小柄な症例に対し動作方法と環境設定の工夫によりADL獲得に繋がった症例	大黒谷 菜月 他
令和5年5月27日 ～5月28日	第34回青森県作業療法学会（弘前市）	重度麻痺手に対して生活での具体的な使用場面の提示と自主訓練指導により、生活に対する満足度が向上した症例	松橋 聖華 他
令和5年5月27日 ～5月28日	第34回青森県作業療法学会（弘前市）	段階的介入により道具の誤使用を自己修正し歯磨き遂行が可能となった症例	相馬 菜奈 他
令和5年5月30日	第46回弘前市医師会医療従事者学術講演会～在宅医療を始めてみよう～（第一三共）（弘前市）	脳卒中と神経障害性疼痛の治療戦略	齋藤 新
令和5年5月30日	脳卒中トータルケアWEBセミナー（第一三共）（web開催）	一次脳卒中センター（PSC）今後の役割について	萩井 譲士
令和5年5月30日	脳卒中トータルケアWEBセミナー（第一三共）（web開催）	脳卒中の回復期リハビリテーションと疼痛管理	岩田 学
令和5年6月2日	一般社団法人青森県作業療法士会 地域包括ケアシステムアドバンス研修会～地域ケア会議～（web開催）	事例検討と生活行為向上マネジメント（MTDLP）について	金谷 圭子
令和5年6月3日 ～6月4日	第59回日本循環器予防学会学術集会（鹿児島市）	急性期脳卒中患者における塩分チェックシートと推定一日食塩摂取量との関連	白戸 弘志 他
令和5年6月7日	Stop the Secondary Stroke in Yamaguchi（日本メドトロニック）（web開催）	脳梗塞再発予防におけるICMの役割	齋藤 新
令和5年6月10日 ～6月11日	日本病院薬剤師会 東北ブロック第12回学術大会（郡山市）	当院におけるアンデキサネットアルファの導入と使用状況について	鳥谷部 翔 他
令和5年6月10日 ～6月11日	日本病院薬剤師会 東北ブロック第12回学術大会（郡山市）	当院における医療従事者の新型コロナワクチンに対する意識変化	三浦 慶己

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和5年6月10日 ～6月11日	日本病院薬剤師会 東北ブロック第12回学術 大会（郡山市）	クイックバックを用いたハザーダス・ドラッグ 被爆対策への取り組み	世永 壮
令和5年6月18日	一般社団法人青森県作業 療法士会 2023年度現職者共通研修 （web開催）	作業療法における協業・後輩育成	算用子 暁美
令和5年6月24日 ～6月25日	第47回青森県理学療法士 学会（五戸町）	脳卒中片麻痺患者に対する横歩きの介入効果 ～ABAシングルケースデザインを用いた検討～	田口 惇 他
令和5年6月25日	第33回東北作業療法学会 （仙台市）	症例にとって価値の高い生活行為の再獲得を目 指した介入 ～化粧品や乳液などを顔につける スキンケア動作に着目して～	齊藤 果那 他
令和5年6月25日	第33回東北作業療法学会 （仙台市）	顕著な後遺症はないが、病前の役割への復帰に 不安を持つ脳梗塞患者に対する作業療法 ～調 理訓練が自信回復に繋がった一症例～	佐藤 緑 他
令和5年7月1日	第15回北東北脳血管内治 療カンファランス （秋田市）	Carotid Guardwire販売終了が頸動脈ステント 留置術（CAS）に合併する症候性脳梗塞に及ぼ す影響	齋藤 新 他
令和5年7月6日	一般社団法人青森県作業 療法士会 2023年度臨床研修会 （web開催）	事例紹介と討論①	金谷 圭子
令和5年7月8日	第69回日本不整脈心電学 会学術大会 LS23 （アストラゼネカ） （札幌市）	直接作用型第Xa因子阻害薬中和薬アンデキサ ネットアルファへの期待と課題	齋藤 新
令和5年7月20日 ～7月22日	第38回日本環境感染学会 総会・学術集会 （横浜市）	A病院職員の4回目新型コロナワクチン接種に対 する認識	飯田 哲子 他
令和5年7月20日 ～7月22日	第38回日本環境感染学会 総会・学術集会 （横浜市）	抗菌薬適正使用支援活動と長期的に見た抗菌薬 使用動向	花田 和大 他
令和5年7月23日	一般社団法人青森県作業 療法士会 2023年度現職者選択研修 （web開催）	生活行為向上マネジメント基礎研修①	今井 寛人
令和5年7月27日	一般社団法人青森県作業 療法士会 2023年度臨床研修会 （web開催）	事例のみかた・事例報告書き方講習会	赤平 一樹
令和5年8月1日 ～8月2日	第46回日本神経科学大会 （仙台市）	The effects of social isolation stress on behavior and brain in mice	馬道 夏奈 他
令和5年8月1日 ～8月2日	第46回日本神経科学大会 （仙台市）	Differential recovery of motor function by voluntary and forced wheel cage running after intracerebral hemorrhage in mice	布村 倫仁 他

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和5年8月19日 ～8月20日	第4回日本脳神経内科血管治療研究会（JSVIN2023）（盛岡市）	Carotid Guardwire販売終了が頸動脈ステント留置術（CAS）に合併する症候性脳梗塞に及ぼす影響	齋藤 新 他
令和5年8月24日	痛みのTotal Care Seminar（第一三共）	脳卒中と神経障害性疼痛の治療戦略	齋藤 新
令和5年9月6日	一般社団法人青森県作業療法士会 2023年度臨床研修会（web開催）	MTDLP事例の事例報告のポイント	金谷 圭子
令和5年9月9日 ～9月10日	第21回日本神経理学療法学会学術大会（横浜市）	軽度及び中等度運動麻痺を有する脳卒中患者における筋肉量の経時的変化	小田桐 伶
令和5年9月9日 ～9月10日	第21回日本神経理学療法学会学術大会（横浜市）	脳卒中患者に対してVirtual Realityを使用し歩行速度誤認識を形成させたトレッドミル後進歩行介入の効果に関する研究	田口 惇 他
令和5年9月9日 ～9月10日	第21回日本神経理学療法学会学術大会（横浜市）	非麻痺側下肢拘束下の歩行における脳活動の変化	阿部 愛 他
令和5年9月9日 ～9月10日	第21回日本神経理学療法学会学術大会（横浜市）	脳卒中発症時のADL状況の違いが発症後2週時の筋肉量変化に及ぼす影響	齋藤 祐希 他
令和5年9月9日 ～9月10日	第41回東北理学療法学術大会（盛岡市）	健常成人を対象とした免荷平地歩行時の免荷量の違いが歩行時の左右対称性に及ぼす影響-加速度センサを用いた解析	齊藤 和樹 他
令和5年9月30日	第50回日本脳神経看護研究学会（金沢市）	排泄ケアに対する看護師の意識改革を目指して～フローシートを活用した取り組み	五十嵐 沙弥香 他
令和5年9月30日	第50回日本脳神経看護研究学会（金沢市）	脳卒中専門病院に勤務する看護師の自己教育に関する意識調査	岡崎 聡子 他
令和5年10月1日	一般社団法人青森県作業療法士会 2023年度生活行為向上マネジメント研修会（web開催）	事例検討・事例報告（MTDLP事例）	金谷 圭子
令和5年10月8日	一般社団法人青森県作業療法士会 地域包括ケアシステムアドバンス研修会～地域ケア会議～（web開催）	・地域包括ケアシステムにおいて対象者の生活を捉える視点について ・対象者の生活行為の診方・分析の視点及び整理の仕方について ・事例検討と生活行為向上マネジメント（MTDLP）について	金谷 圭子
令和5年10月22日	県民公開講座（共催：青森県 他）（青森市）	脳卒中の内科治療、お教えします	齋藤 新
令和5年10月26日 ～10月27日	リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島2023（広島市）	ADLの介助量が多い患者の自宅復帰に向けて～感染対策下における妻への介助指導～	倉内 拓哉 他

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和5年10月26日 ～10月27日	リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島2023（広島市）	当院の車椅子シーティング委員会の取り組みと今後の展望	田中 圭 他
令和5年10月26日 ～10月27日	リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島2023（広島市）	体幹機能が低下し重心移動が困難な脳卒中片麻痺患者に対し部分免荷トレッドミル歩行練習を行い歩行自立した一症例	福士 佳那子 他
令和5年10月29日	脳卒中市民公開講座（弘前市）	脳卒中の内科治療、お教えします	齋藤 新
令和5年10月29日	脳卒中市民公開講座（弘前市）	脳卒中と喫煙 ～変わりつつある喫煙習慣～	高梨 信吾
令和5年10月29日	脳卒中市民公開講座（弘前市）	予防しましょう！脳卒中・認知症 ～まずは血圧管理から～	日時 典文
令和5年11月3日 ～11月5日	第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会（宮崎市）	脳卒中発症時点における筋肉量低下が発症4週時・8週時のADL能力に与える影響	阿部 愛 他
令和5年11月3日 ～11月5日	第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会（宮崎市）	脳卒中発症時の筋肉量低下が発症4週時・8週時のバランス能力及び歩行能力に与える影響	三上 菜月 他
令和5年11月3日 ～11月5日	第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会（宮崎市）	脳卒中発症時点におけるサルコペニア者及び非サルコペニア者の筋肉量の経時的変化に関する検討	尾田 遥香 他
令和5年11月10日 ～11月12日	第57回日本作業療法学会（宜野湾市）	回復期脳卒中患者の筋量変化と運動麻痺・ADLの改善との関係性 ～体組成計を用いた予備的検討～	今井 寛人 他
令和5年11月10日 ～11月12日	第57回日本作業療法学会（宜野湾市）	回復期脳卒中上肢麻痺に対するReoGo-J併用効果と適応の検討	渡部 清寛 他
令和5年11月10日 ～11月12日	第57回日本作業療法学会（宜野湾市）	重度体性感覚障害を呈した脳卒中片麻痺患者における麻痺手の使用場面・頻度・質の特性 ～2症例の介入経過から～	赤平 一樹 他
令和5年11月10日 ～11月12日	第57回日本作業療法学会（宜野湾市）	体性感覚障害を呈した患者に対して修正CI療法を用い、麻痺手の使用頻度と質の向上がみられた一症例	森 駿 他
令和5年11月17日	第109回青森県病院薬剤師会弘前支部研修会（web参加）	脳卒中後疼痛に対する薬剤師の対応と一般病床、療養病床、老健における薬剤業務	鳥谷部 翔
令和5年11月23日 ～11月25日	第39回日本脳神経血管内治療学会学術集会（京都市）	Carotid Guardwire販売終了が頸動脈ステント留置術（CAS）に合併する症候性脳梗塞に及ぼす影響	齋藤 新 他
令和5年12月2日	第15回青森県NST研究会（青森市）	ある超高齢女性の例 ～回復期病棟でACPを考える～	佐々木 都子
令和5年12月2日	第15回青森県NST研究会（青森市）	クイックバックを用いたハザーダス・ドラッグ被爆対策への取り組み	世永 壮 他

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和5年12月2日 ～12月3日	第28回日本基礎理学療法 学会学術大会（広島市）	脳出血モデルマウスに対する自発的および強制的 走行に伴うストレスが機能回復に及ぼす影響	布村 倫仁 他
令和6年2月20日	第12回青森県急性期脳梗 塞血管内治療ネットワ ーク（A-NET）研究会 （エーザイ） （青森市）	循環器内科医と脳血管内治療医の両立を目指し て	齋藤 新
令和6年3月2日	第118回日本呼吸器学会東 北地方会（青森市）	Mycobacterium Kansasii感染を伴った肺葉内肺 分画症の一例	千葉 俊介 他
令和6年3月2日 ～3月3日	第15回日本ニューロリハ ビリテーション学会学術 集会（佐賀市）	社会的孤立ストレスがマウスの認知機能および 社会的行動に及ぼす影響と運動介入の効果	馬道 夏奈 他
令和6年3月7日	STROKE2024 第49回日本 脳卒中学会学術集会 （横浜市）	当院における12年間の心原性脳塞栓症の変遷	萩井 譲士
令和6年3月7日	STROKE2024 第49回日本 脳卒中学会学術集会 （横浜市）	第Xa因子阻害剤服用下脳内出血に対するアンデ キサネットアルファの初期使用経験	齋藤 新 他
令和6年3月7日	STROKE2024 第49回日本 脳卒中学会学術集会 （横浜市）	初診時頭部CTのHypodensities所見は第Xa因子 阻害剤服用下脳内出血の血腫増大危険因子であ る	齋藤 新 他
令和6年3月7日	STROKE2024 第49回日本 脳卒中学会学術集会 （横浜市）	脳梗塞後の潜在性心房細動検出のためのバイオ マーカー探索研究：NT-proBNPとBNP	白戸 弘志 他
令和6年3月8日 ～3月9日	第43回回復期リハビリ テーション病棟協会研究 大会in熊本（熊本市）	当院における複数担当制開始にむけた取り組み （第1報）	相馬 千尋 他
令和6年3月8日 ～3月9日	第43回回復期リハビリ テーション病棟協会研究 大会in熊本（熊本市）	トレッドミルとウォークエイドを併用した歩行 訓練を行った脳卒中右片麻痺の症例	成田 凌馬 他
令和6年3月8日 ～3月9日	第43回回復期リハビリ テーション病棟協会研究 大会in熊本（熊本市）	両側橋出血発症後に右上下肢の重度感覚障害及 び体幹機能障害を有し、左足に義足をつけた患 者のトイレでの排泄に向けた介入 ～患者の恐怖心に配慮して～	鈴木 真帆 他
令和6年3月8日 ～3月9日	第43回回復期リハビリ テーション病棟協会研究 大会in熊本（熊本市）	視力障害を呈する脳卒中患者の整容動作に対し て多職種で連携し動作獲得を目指した介入	畑中 魁 他
令和6年3月8日 ～3月9日	第43回回復期リハビリ テーション病棟協会研究 大会in熊本（熊本市）	車椅子の変更によって摂食状況が変化した重度 嚥下障害の一症例 ～安定した経口摂取獲得を目指した病棟間連携 についての報告～	長尾 ひかり 他
令和6年3月9日	第88回日本循環器学会学 術集会（web参加）	Carvedilol suppresses coronary artery spasm in A-kinase anchoring protein 150 knockout mouse	金野 佑基
令和6年3月24日	第49回日本脳神経血管内 治療学会東北地方会 （仙台市）	rt-PA投与中のアクセス困難に対して上腕動脈 ではなく橈骨動脈からのアプローチに変更し、 かつ再開通に難渋した脳底動脈閉塞の一例	齋藤 新 他

論文・雑誌等掲載（計13題）

年 月	雑 誌 名	発 表 演 題	発 表 者
令和5年4月	理学療法科学 Vol. 38 (2) (P. 135-139)	脳卒中患者における発症時と発症後2週時の筋肉量変化に関する検討	小田桐 伶
令和5年5月	GEN Case Reports Vol. 12 (2) (P. 221-225)	Valacyclovir-associated acute kidney injury and encephalopathy in an elderly woman with normal kidney function: a case report	加藤 和史 白戸 弘志 富田 泰史 他
令和5年6月	弘前市医師会報 Vol. 58 (3) (P. 1-3)	巻頭言：新しい時代に入った喫煙習慣	高梨 信吾
令和5年8月	青森県病薬会誌 No. 83 (P. 3)	巻頭言：あきらめたらそこで試合終了だよ	鳥谷部 翔
令和5年12月	循環器疾患最新の治療 2024-2025 (P. 403-406)	XⅢ脳血管障害 3. 脳動脈瘤	齋藤 新 富田 泰史
令和5年12月	日本病院薬剤師会雑誌 Vol. 59 (12) (P. 1404-1405)	複数の機能があるケアミックス病院を魅力ある職場へ	鳥谷部 翔
令和6年2月	青森県作業療法研究 Vol. 32 (1) (P. 23-27)	脳卒中中等度上肢麻痺患者に対して修正CI療法を実施し、症例が希望した左手で茶碗を持つ行為の獲得に至った一例	齋藤 壘 赤平 一樹 算用子 暁美
令和6年2月	青森県作業療法研究 Vol. 32 (1) (P. 41-44)	洗濯動作の獲得によるリハビリ意欲の向上をきっかけに家事動作全般の獲得につながった事例 - MTDLPによるアセスメントを用いた関わりの明確化の重要性	馬道 夏奈 今井 寛人 佐藤 ちひろ 算用子 暁美 他
令和6年2月	青森県作業療法研究 Vol. 32 (1) (P. 45-49)	両側の機能障害と小柄な体格によりリーチ範囲が狭い症例に対し動作方法と環境設定の工夫によりADL獲得に繋がった一例	大黒谷 菜月 住吉 佳奈子 佐藤 ちひろ 算用子 暁美
令和6年2月	青森県作業療法研究 Vol. 32 (1) (P. 51-54)	環境調整と誤りなし学習を取り入れた介入により手づかみでの食事動作が改善した左脳梗塞の一例	小田桐 紅葉 算用子 暁美
令和6年3月	in vivo Vol. 38 (2) (P. 725-733)	Clinical benefits of oral anticoagulants for elderly patients with cardioembolic stroke at high bleeding risk	齋藤 数正 萩井 讓士 和島 将太 山田 奈津美 白戸 弘志 齋藤 新 鎌田 孝篤 高梨 信吾 富田 泰史 他
令和6年3月	理学療法研究 Vol. 41 (P. 8-13)	健常成人の仮想現実における後進歩行の主観的な速度知覚に関する検討	田口 惇 高見 彰淑 他
令和6年3月	理学療法研究 Vol. 41 (P. 25-30)	脳卒中患者におけるBalance Evaluation Systems TestのセクションⅢ（姿勢変化-予測的姿勢制御）の解釈可能性と構成概念妥当性に関する予備的検討	齋藤 祐希 高見 彰淑 他

医療安全管理委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療安全管理体制を確立し、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法について、指針を示すことにより、適切な医療安全管理を実践し、患者様へ安全な医療を提供することを目的とする。

2. 構成員 ※令和5年4月1日現在

医療安全管理委員会

委員長 鎌田 孝篤 (病院長)
副委員長 樋口 三枝子 (看護部長)
鳥谷部 翔 (医薬品安全管理責任者)
委員 萩井 譲士 (副院長・医療安全推進室室長) ※
岩田 学 (医局長・副院長代行)
佐々木 都子 (内科部長・リハ部長)
算用子 暁美 (リハ部技師長)
野沢 正人 (事務部長)
立林 修 (事務部次長・庶務課長代行兼務)
千葉 順子 (看護師長・医療安全推進室副室長) ◆
藤田 尚子 (医薬品情報室副室長) ※

※医療安全推進室 (兼務)

◆専従医療安全管理者

3. 委員会等開催記録

医療安全管理委員会

回	開催日	内 容
1	令和5年4月19日	3月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 令和5年度新入職員医療安全研修会報告 転倒転落ワーキングから、新入職員へ離床センサー勉強会 医薬品副作用などの報告 病院ホームページに、「患者さんの権利と責務」「医療安全の基本的な考え方」について掲載

回	開催日	内 容
2	令和5年5月17日	4月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングからの報告 医薬品副作用などの報告 令和4年度医療安全業務改善報告、令和5年度医療安全業務改善計画書について 医薬品副作用などの報告
3	令和5年6月21日	5月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングから報告 令和4年度1年間のインシデント・アクシデント報告 6月22日(木)から患者誤認防止注意喚起放送9時半・12時に次いで18時を追加 令和5年度第1回医療安全研修会(全職員対象); ・医薬品副作用などの報告
4	令和5年7月19日	6月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングから報告 医薬品副作用などの報告 保健所立ち入り検査、麻薬に関する指摘事項について報告
5	令和5年8月16日	7月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ報告 院内巡視報告 放射線科誤認防止について、他病院と現在の当院現状報告 転倒転落ワーキングから報告 令和5年度第1回医療安全研修会結果報告 院内暴力対応マニュアル完成 急変時対応指導者研修についての報告 ・医薬品副作用などの報告

回	開催日	内 容
6	令和 5 年 9 月 20 日	<p>8 月分インシデント・アクシデント報告</p> <p>医療事故報告書まとめ</p> <p>院内巡視報告</p> <p>転倒転落ワーキングから報告</p> <p>高齢者虐待防止に関する指針 完成</p> <p>急変時対応研修について報告</p> <p>対象：看護部・リハ部・放射線室全員</p> <p>外来・各病棟で急変時対応研修を実施</p> <p>医薬品副作用などの報告</p> <p>「患者さんの権利と責務」「医療安全の基本的な考え方」について掲示</p>
7	令和 5 年 10 月 18 日	<p>9 月分インシデント・アクシデント報告</p> <p>医療事故報告書まとめ</p> <p>8 月報告予定の急変時対応中の薬剤間違いのレベル判定について議論</p> <p>院内巡視報告</p> <p>転倒転落ワーキングから報告</p> <p>膀胱留置カテーテル自然抜去についての検証報告</p> <p>医薬品副作用などの報告</p>
8	令和 5 年 11 月 15 日	<p>10 月分インシデント・アクシデント報告</p> <p>医療事故報告書まとめ</p> <p>院内巡視報告</p> <p>転倒転落ワーキングから報告</p> <p>医療安全地域連携相互点検について準備</p> <p>医薬品副作用などの報告</p> <p>救急カートについて</p> <p>救急カート医薬品統一化し、救急カート（点検・補充）手順の承認</p> <p>【注意喚起】注射用カリウム製剤の投与方法について報告</p>
9	令和 5 年 12 月 20 日	<p>11 月分インシデント・アクシデント報告</p> <p>医療事故報告書まとめ</p> <p>院内巡視報告</p> <p>転倒転落ワーキングから報告</p> <p>医療安全地域連携相互点検について</p> <p>医薬品副作用などの報告</p> <p>【注意喚起】注射用カリウム製剤の投与方法勉強会</p> <p>入院時、転倒転落防止の説明書について</p>

回	開催日	内 容
10	令和 6 年 1 月 18 日	12 月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングから報告 医療安全地域連携相互点検について 12 月分医薬品副作用などの報告 セカンドオピニオンの資料・ポスターについて 第 2 回 医療安全管理研修会について
11	令和 6 年 2 月 21 日	1 月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングから報告 医療安全地域連携相互点検改善報告について BLS 研修結果報告 医療安全管理マニュアルについて 令和 5 年度 第 2 回 医療安全研修会(全職員対象) 1 月分医薬品副作用などの報告 医薬品の副作用等報告に関する手順書と医薬品の安全使用のための 業務手順書について 医療安全ニュースについて
12	令和 6 年 3 月 22 日	2 月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングから報告 令和 5 年度 第 2 回 医療安全研修会結果報告 院内緊急時コールについて 2 月分医薬品副作用などの報告 医薬品の副作用等報告に関する手順書と医薬品の安全使用のための 業務手順書の承認

医療安全研修会

	開催日	内 容
第 1 回 全職員	令和 5 年 6 月 26 日 ～7 月 9 日 *電子カルテによる学習研修会	<医療安全研修> インシデント・アクシデントデータから当院の実状を知る
	令和 5 年 7 月 25 日 ～7 月 31 日 *資料による延長研修	<医療ガス安全管理研修> 医療酸素ガスの取り扱いについて <診療用放射線安全研修> 診療用放射線の安全利用 (動画: 約 25 分)

	開催日	内 容
第2回 全職員 (委託職員含む)	令和6年2月19日 ～2月29日 *電子カルテによる学習研修会	<医療安全研修会> 守秘義務と個人情報保護について知る <医薬品安全管理研修会> 機能評価で求められる病棟・外来における医薬品安全管理
病棟選出者	令和5年9月1日 ～9月6日	急変時対応指導者養成研修会「急変時対応指導者研修」 急変時対応指導者研修受講者
看護部・リハビリ部・診療放射線室	9月11日～12月24日 (1ヶ月延長)	令和5年度 急変時対応研修会「急変時対応研修」 急変時対応者研修受講者

定時院内巡視

開催日	場所	内 容
令和5年4月20日	1病棟	与薬・注射ミキシングの手順 患者誤認 環境
令和5年5月18日	2病棟	与薬・注射ミキシングの手順 患者誤認 環境
令和5年6月15日	3病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和5年7月20日	4病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和5年8月17日	5病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和5年9月21日	外来・正面玄関	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和5年10月19日	臨床検査室	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和5年11月16日	診療放射線室	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和5年12月21日	栄養室・厨房	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和6年1月18日	リハビリ室	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和6年2月15日	薬剤室	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和6年3月21日	事務室・SPD	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携

臨時巡視

日時	場所	内 容
令和5年6月29日	各病棟、外来、救急処置室、アンギオ室	麻薬・抗精神薬・AED・DC・医薬品冷蔵庫の温度の管理状況
令和6年1月10日(朝食後)	各病棟食堂	配薬時の患者確認状況
令和6年1月11日(朝食後)	1.3.4.5病棟食堂	配薬時の患者確認状況
令和6年1月16日(朝食後)	1.3.5病棟食堂	配薬時の患者確認状況
令和6年1月18日(朝食後)	各病棟食堂	配薬時の患者確認状況
令和6年1月23日(朝食後)	各病棟食堂	配膳・配薬時の患者確認

4. 活動要約

- ・インシデント・アクシデント事例の分析・再発防止の検討
- ・医療安全管理に関する全般事項の調査・報告・審議
- ・医療事故防止のための提言
- ・医薬品副作用の報告
- ・インシデント・アクシデントレポートの収集
インシデント・アクシデント事例を分析し、結果を現場へフィードバック
- ・院内ラウンド
定期的な院内ラウンドにより安全な作業環境、ルール・マニュアル遵守状況の把握
病棟内に、同姓・同名患者がいる際、臨時で誤認防止のため環境調査
- ・医療安全対策地域連携相互点検
医療安全対策の現状について連携する病院間で意見交換及び評価することで、医療安全対策の標準化・質向上を図る
12月1日（金）板柳中央病院を訪問
12月15日（金）健生病院が当院を訪問、1月26日（金）当院が健生病院を訪問
- ・医療安全研修会（年2回開催）
 - 第1回 医療安全・第1回医療ガス研修会・診療用放射線安全研修会
6月26日～7月9日の期間内、参加予定者474名中（産休・育休・病欠を除く）386名参加
参加率：81%であったが、資料での延長研修実施し全職員参加 参加率：100%
 - 第2回 医療安全・医療安全医薬品研修会
2月19日～2月29日の期間内、
参加予定者523名中（委託職員含み、産休・育休・病欠を除く）444名参加、参加率：85%、
病院機能評価と年度末にて延長研修は困難と判断にて期間内10日間で終了
- ・病院機能評価受審（初回）
患者の視点に立った良質な医療の実践のため、病院の組織運営や質改善活動、医療安全・感染対策の見直し、継続的な質改善活動の支援を図る。
3月13日（水）1日目
第一領域～第4領域 面接、病棟概要確認、ケアプロセス調査、カルテレビュー、外来訪問
3月14日（木）2日目
部署訪問、カルテレビュー、講評・意見交換

令和5年度まとめ

昨年度と比較し今年度は、インシデント・アクシデント総件数は558件から638件へと増加した。入院延患者数の増加と患者層の高齢化に伴い認知力の低下により危険と認識できないことも、要因のひとつにあると考える。患者誤認（家族も含む）も昨年度より2件増加し計15件にて目指す0件には至らなかった。主な要因として、多忙な時間帯で限られた人数での業務、患者誤認防止の確認ルールとマニュアルの逸脱である。業務内容の見直しと共に、スタッフ間で情報共有し患者の安全を第一に考えること、誤認防止の確認ルールの習慣化とマニュアル遵守の取り組みが必要である。その中でも患者誤認防止は照合確認が必須と考える。今後も患者の安全を守るため、部署リスクマネージャー、薬剤ワーキング、転倒・転落ワーキングと連携しながらマニュアル・ルールを遵守するよう周知させ、5S活動・KYTを推進しスタッフの教育・指導に努めていく。また、今年度は病院機能評価本審査で院内緊急コールについて指摘及び助言があり、以前検討していたこともあり院内緊急コールを101番とし、蘇生：コードブルー、暴力：コードホワイトとし整備し始めた。引き続き次年度は、実際に動ける運用内容の整備と訓練を課題として努めていきたいと考える。インシデント・アクシデントレポートでは、「0」レベル報告は昨年度と比較し10件増加し12件であるが、病院機能評価では「0」レベル、ヒヤリハットをもっと提出できるようにレポートの簡略化してはとの助言があり。今後はレポート様式について検討し、「0」レベルの患者へ実施とならなかった事例を、職員へ感謝の気持ちを込め情報発信していきたいと考えている。

医療器材管理委員会

1. 活動目的

本委員会は、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける診療材料及び診療に必要な医療機器（以下「医療材料等」という。）の安全採用、死蔵化の防止、その他使用の効率化及び医療材料等の試用に関する事項を審議し、病院運営の健全化を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長	医 局	清野 聡	(副院長・医療器材管理室長・医療機器安全管理者)
委員	医 局	齋藤 新	(内科部長)
	看護部	中田 智子	(副看護部長・医療器材管理副室長)
		千葉 順子	(医療安全推進室副室長・看護師長)
		佐藤 奈奈	(副看護部長・感染対策室副室長)
	リハ部	山本 賢雅	(理学療法室長)
	事務部	菊池 真	(企画運営課主任)
		桑田 武人	(企画運営課長代行)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和5年4月27日	4月分の医療機器・消耗品申請について報告。 医療消耗品納期遅延について報告。 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。 救急処置室にある超音波診断装置更新計画について報告。 電動式低圧吸引器レンタルについて報告。 厚生労働省より新型コロナウイルス対応として、サージカルマスク2万枚、パルスオキシメーター200台無償譲渡されたことについて報告。 気切挿入患者のMRI検査時の確認事項について報告。 気管支内視鏡ビデオスコープ更新についての検討を報告。
2	令和5年5月25日	前回承認された医療機器について報告。 5月分の医療機器・消耗品申請について報告。 厚生労働省無償譲渡提供分のパルスオキシメーター200台の振分について報告。 超音波診断装置更新について医局会にて検討することを報告。 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。 厚生労働省より、袖付きプラスチックエプロン4,000枚無償譲渡されたことについて報告。

回	開催日	内 容
3	令和5年6月22日	<p>前回承認された医療機器について報告。</p> <p>超音波診断装置更新について医局会にて検討した結果、2024年度内に更新希望することを報告。</p> <p>気管支内視鏡ビデオスコープ更新について医局会にて検討することを報告。</p> <p>人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。</p> <p>膀胱留置カテーテル自己抜去の事案6月分について報告。</p> <p>オンデキサ静注用 200mg 調剤時の注射針に関する情報について報告。</p>
4	令和5年7月27日	<p>気管支内視鏡ビデオスコープ更新について医局会にて検討した結果、更新しないことを報告。</p> <p>血小板凝集能測定装置廃棄について報告。</p> <p>MR I用非磁性輸液ポンプ、スポット点検について報告。</p> <p>人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。</p> <p>医療消耗品廃盤及び後継品について報告。</p> <p>膀胱留置カテーテル自己抜去の事案7月分について報告。</p>
5	令和5年8月24日	<p>内視鏡ビデオスコープ、血小板凝集測定装置の廃棄完了について報告。</p> <p>血液ガス分析装置の後継機への更新承認について報告。</p> <p>人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。</p> <p>医療消耗品包装変更について報告。</p> <p>心嚢穿刺キットを血管造影室に保管することを報告。</p>
6	令和5年9月28日	<p>血糖測定器定期点検実施について報告。</p> <p>9月分の医療消耗品申請について報告。</p> <p>人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。</p>
7	令和5年10月26日	<p>ステント術用デバイスの一部製品自主回収について報告。</p> <p>3病棟、4病棟セントラルモニタ故障。修理不能により更新を検討、審議について報告。</p> <p>人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。</p> <p>膀胱留置カテーテル自己抜去回答書6、7月分について報告。</p> <p>血液ガス検査用シリンジ不良品について報告。</p>
8	令和5年11月16日	<p>3病棟、4病棟セントラルモニタ更新について進捗状況を報告。</p> <p>11月分の医療機器・消耗品申請について報告。</p> <p>人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。</p> <p>膀胱留置カテーテル自己抜去の事案11月分について報告。</p> <p>ペースメーカーチェック対応業者変更について報告。</p>

回	開催日	内 容
9	令和5年12月21日	3病棟、4病棟セントラルモニタ納期について報告。 輸液ポンプ及びシリンジポンプ点検日について報告。 前回承認された医療機器について報告。 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。 医療消耗品廃盤品及び後継品について報告。 医療消耗品納期遅延状況を報告。
10	令和6年1月25日	3病棟、4病棟セントラルモニタ納品及び説明会について報告。 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。 医療消耗品仕様変更について報告。 輸液セット消耗品不具合について報告。 医療消耗品包装変更について報告。 医療消耗品廃盤品及び後継品について報告。 膀胱留置カテーテル自己抜去の事案1月分について報告。
11	令和6年2月22日	輸液・シリンジポンプ定期点検の結果について報告。 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。 医療消耗品出荷規制緩和により通常供給に戻ったことを報告。 医療関連物資等の高騰により消耗品の見直しを積極的に行うことを報告。
12	令和6年3月28日 (紙上開催)	血糖測定定期点検結果について報告。 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。 医療消耗品仕様変更について報告。 医療消耗品包装変更について報告。 令和6年度医療器材管理委員変更について報告。

4. 活動要約

- ・医療器材等新規購入の採否に関して審議。
- ・既採用医療材料等の削除に関して調査・報告・審議。
- ・医療器材等の試用に関して報告・審議。
- ・医療器材等の適正な使用及び安全管理に関して調査・報告・審議。
- ・医療器材等の更新に関して調査・報告・審議。
- ・COVID-19の影響による物資供給不安定のため、感染対策用消耗品の確保と適正な使用及び安全管理に関して調査・報告・審議。
- ・令和5年度新型コロナウイルス感染症感染拡大・医療提供体制確保支援補助金に関して報告。
- ・医療関連物資高騰による器材見直しに関して調査・報告・審議。

感染対策委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療関連感染防止のために、耐性菌検出状況・抗菌薬の使用状況を把握し院内感染対策の業務が適正に遂行されているかを審議することを目的とする。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤 (病院長)	
委員	清野 聡 (副院長・感染対策室長)	萩井 譲士 (副院長)
	白戸 弘志 (内科副部長)	
	樋口 三枝子 (看護部長)	千葉 順子 (医療安全推進室副室長)
	算用子 暁美 (リハ部技師長)	中山 登美子 (臨床検査室技師長代行)
	鳥谷部 翔 (薬剤師長)	倉内 寿孝 (主任薬剤師)
	花田 和大 (薬剤師)	三浦 慶己 (薬剤師)
	野沢 正人 (事務部長)	古川 栄 (臨床検査技師)
	佐藤 奈奈 (感染対策室副室長) ※	村上 朋子 (主任看護師)
	飯田 哲子 (看護師)	

※院内感染管理者

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和5年4月19日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 流行感染症(新型コロナウイルス)の院内対応について HBプログラムについて 教育研修について(新入職員教育研修)
2	令和5年5月17日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 新型コロナワクチン接種について 院内感染対策見直し、入院時スクリーニング検査について 外来対応医療機関(発熱患者等の診療に対する医療機関)について

回	開催日	内 容
3	令和5年6月21日	<p>感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 外来対応医療機関（発熱患者対応外来）開始と予約状況報告</p>
4	令和5年7月19日	<p>感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 感染マニュアル改訂について 病棟患者の対応について（眼瞼に虫体付着）</p>
5	令和5年8月16日	<p>感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 第1回院内感染防止対策研修会について</p>
6	令和5年9月20日	<p>感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 新型コロナワクチン接種について 入院時スクリーニング検査（新型コロナウイルス）変更 指導強化加算に係る施設訪問について</p>
7	令和5年10月18日	<p>感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について インフルエンザワクチン接種について 指導強化加算に係る施設訪問の報告 第1回感染対策研修会の評価について</p>

回	開催日	内 容
8	令和5年 11 月 15 日	<p>感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について インフルエンザワクチン接種について 感染対策向上加算カンファレンスについて 緑膿菌アウトブレイクの報告</p>
9	令和5年 12 月 20 日	<p>感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 感染対策向上加算合同カンファレンスの報告 第2回院内感染防止対策研修会について 標準予防策（手指衛生）について 面会制限の緩和について</p>
10	令和6年 1 月 17 日	<p>感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 第2回院内感染防止対策研修会について ＊委託業者研修会について 市内の新型コロナウイルス・インフルエンザ感染状況について</p>
11	令和6年 2 月 21 日	<p>感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 院内感染対策防止研修会の報告 新型コロナウイルス感染症に係る職員就業制限基準の見直し</p>
12	令和6年 3 月 22 日	<p>感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 病院機能評価受審からの課題 発熱者対応外来について</p>

院内感染防止対策研修会

回	開催日	内 容
1	令和5年8月9日～5年8月22日	標準予防策の基本知識
2	令和6年2月14日～6年2月29日	①院内抗菌薬使用状況と耐性化動向 ②感染経路別予防策
3	令和6年2月5日～6年2月9日	標準予防策の基本知識（対象者：委託業者）

4. 活動要約

・感染情報レポートの評価・検討

院内感染報告患者と報告細菌数を可視化。

細菌報告後は早期に介入を行い結果も含め報告し、注意点などをフィードバックしている。

委員会で検討・注意喚起を行う事で感染防止に繋がっている。

・薬剤室より、抗菌薬・消毒剤使用状況報告

抗菌薬使用状況などから、病棟毎の特殊性を把握し感染症に関する治療や抗菌薬使用を可視化する事で、感染状況や治療に繋げる事が出来ている。

感染合同カンファレンスで「抗菌薬適正使用の取り組み」の中で、タゾピペを他施設では特定抗菌薬として監視しているが、当院では週1回のICT会議で使用状況報告することになった。

・ICTよりラウンド状況報告

院内環境巡視を通し、院内の感染対策実施状況の把握が出来ている。

今年度はチェック表を確認する側、される側が根拠を理解できるような内容に変更した。

アウトブレイク発生時には状況調査を行い、感染源となった看護行為や環境なども強化月間を設け全病棟状況確認と指導を行った。

項目ごとにチェックされる部分が決まっているため、今後は同じようにチェックが入らないように業務改善など病棟へ依頼していく。

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の発生に伴い、職員に対し、マスク、アイガードの正しい着用について指導。各部署でマスク、アイガードの装着状況の評価し問題点の改善を図ることが出来た。手指衛生なども含めて今年度は指導を行った。次年度は場面を通して指導継続する。

・新興感染症に関する感染対策

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症発生時、マニュアルをみて対応が可能になるように新型コロナウイルスに焦点をあてたマニュアルを各関係部署へ配布した。まだ感染対策室での指導が必要な状況ではあるが、発生時にはマニュアルを見ながら自部署で対応できるようになるまで指導継続していく。

・院内感染防止対策研修会（年2回）

新型コロナウイルス感染症を契機に、標準予防策の必要性と知識不足が考えられたため研修のテーマに取り入れた。研修後はアンケート調査を行い、標準予防策の理解・知識不足がどの部分でスタッフが困っている部分など確認することができた。手指衛生は合同カンファレンスでもテーマとして上がられており、今後も継続して指導・啓蒙活動が必要。

2回目の研修では、今年度より職種別で研修内容を分けて実施した。①は医師・薬剤師、②は①以外の職種で行った。①の研修は感染対策委員会で薬剤師より院内の抗菌薬使用状況を報告していることもあり研修依頼した。アンケート結果からも「実臨床に活かしたい」など意見があった。病院機能評価を受審の項目に、委託業者・実習生への感染予防策の研修実施があり、研修を実施した。研修をすると普段疑問に思いながら業務をしていること、困っていることなども聞け、改善に取り組んだ。次年度からは実習生の研修を実施していく。

・病院機能評価受審

医療関連感染を制御するための活動の中で、速乾性手指消毒剤の療法士の携帯がされていない。5つのタイミングで使用しているかラウンドで確認し、注意喚起を図る活動を次年度実施していく。

栄養管理委員会

1. 活動目的

病院給食が合理的に運営されるために栄養管理委員会を開催し、患者の適正な栄養管理を行い、医療の質の向上を計ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	佐々木 都子 (内科部長・リハ部長)	
委員	世永 壮 (薬剤師)	熊澤 ゆかり (主任臨床検査技師)
	荒谷 真貴 (看護師)	秋元 桃子 (看護師)
	鳴海 幸大 (看護師)	秋元 翔太 (看護師)
	谷澤 美和 (看護師)	古森 睦美 (看護師)
	今井 真子 (看護師)	横濱 岳 (看護師長)
	市崎 瑠璃香 (看護師)	小野 真矢子 (看護師)
	高阪 理恵 (看護師)	工藤 江理香 (看護師)
	下山 樹羅 (言語聴覚士)	角田 七海 (医事係医事担当)
	鳴海 悦子 (管理栄養士長)	大川 みこと (管理栄養士)
	船水 亜巳 (管理栄養士)	須藤 のどか (管理栄養士)
	小笠原 理紗 (管理栄養士)	
	三橋 義宗 (管理栄養士・日清医療食品)	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和5年4月5日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 アンケート調査結果報告 行事食について (こどもの日) 新年度の栄養管理委員会・NST委員構成について
2	令和5年5月10日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 アンケート調査結果報告 春の食事会について 柴田学園大学生生活創生学部実習生について 栄養教室参加予約について 回復期NSTについて
3	令和5年6月7日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 春の食事会総評

回	開催日	内 容
4	令和5年7月5日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食について（七夕） 日清医療食品ミャンマー実習生について
5	令和5年8月2日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食について（お盆） 柴田学園短期大学生活科実習生について 衛生管理について
6	令和5年9月6日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 秋の食事会 行事食について（敬老の日、十五夜、秋分の日）
7	令和5年10月4日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 秋の食事会総評 食事開始・欠食の連絡について
8	令和5年11月1日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 回復期転入時栄養管理計画書の立ち上げと体重測定について 備蓄粥について 感染症対策について（ノロウイルス、胃腸炎）
9	令和5年12月6日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 クリスマス食事会 行事食について（冬至、大晦日、元旦） 感染症対策による食事配膳について

回	開催日	内 容
10	令和6年1月10日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食（節分） クリスマス食事会総評 食事配膳時の感染症対策について
11	令和6年2月7日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食（バレンタイン、ひなまつり） 感染症対策について（感染性胃腸炎） 給食の配膳車の使用方法の確認 経腸栄養剤の取り扱いについて
12	令和6年3月6日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食について（春分の日） 次年度の食事会・栄養教室日程 次年度の栄養管理委員会・NSTの委員構成について

【主な行事】

開催日	内 容
令和5年6月7日	春の食事会
令和5年10月4日	秋の食事会
令和5年12月20日	クリスマス食事会

4. 活動要約

- ・食事会や行事食は例年通り実施。
- ・個人栄養指導件数は前年より減少。集団栄養指導件数はコロナの制限緩和により回復期の参加が再開となり、前年比より増加した。
- ・6月より回復期NST活動を開始した。

褥瘡対策委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける院内褥瘡対策を討議・検討し、その効率的な推進を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長	岩田 学 (副院長・医局長)	石岡 遥佳 (看護師)
副委員長	桑村 美佳 (看護主任)	尾張 孝汰 (看護師)
委員	樋口 三枝子 (看護部長)	工藤 未稀 (看護師)
	清藤 一輝 (薬剤師)	梶浦 枝里奈 (看護師)
	須藤 のどか (管理栄養士)	進藤 笑美子 (看護師)
	中嶋 秋花 (理学療法士)	齋藤 梨奈 (看護師)
	下山 浩司 (作業療法士)	安田 佳菜子 (看護師)
	菊池 真 (企画運営課主任)	對馬 周子 (看護師)
	佐々木 大聖 (企画運営係)	工藤 詩織 (看護師)
		外川 あや子 (看護師)
		福井 るい (看護師)
		相馬 真知子 (看護師)
	塩谷 美鈴 (看護師)	
	須藤 恵美子 (看護師)	
	山形 由紀子 (看護師)	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和5年4月12日	4月褥瘡患者について報告。 体位交換枕300個新規購入を予算委員会へ提示することを報告。 3月分のリスク因子の評価について報告。 令和5年度褥瘡委員名簿について確認。 コロナ禍により研修会や学会に参加できない状況にあったが、今年度は積極的に行うことを報告。
2	令和5年5月10日	5月褥瘡患者について報告。 エアマット1台故障、修理不可能のため1台購入予定。 体位交換枕300個予算委員会にて承認。新規購入により納期、運用、破棄、保管品等について報告。 4月分のリスク因子の評価について報告。

回	開催日	内 容
3	令和 5 年 6 月 14 日	6 月褥瘡患者について報告。 エアマット 1 台購入承認。新機種になるため操作説明実施することを報告。 5 月分のリスク因子の評価について報告。 委員長より褥瘡委員会の病院機能評価について報告。 教育研修の内容について検討及び報告。
4	令和 5 年 7 月 12 日	7 月褥瘡患者について報告。 エアマット 1 台故障、修理不可能のため 1 台購入予定。 新規導入した体位交換枕の管理、運用、使用の現状について報告。 6 月分のリスク因子の評価について報告。 理学療法士より、体位交換枕新規導入品の使用方法について、看護部へ講習会を実施するか次回までに検討。
5	令和 5 年 8 月 9 日	8 月褥瘡患者について報告。 エアマット 1 台新規購入について報告。 体位交換枕不足、追加導入品の選定について報告。 7 月分のリスク因子の評価について報告。 厚生局の適時調査にて指摘があり、褥瘡対策チーム新設及びテンプレート修正について報告。 教育研修実施について報告。
6	令和 5 年 9 月 13 日	9 月褥瘡患者について報告。 エアマット 1 台故障、修理不可のため 1 台購入予定。 体位交換枕追加導入の選定品及びサンプル依頼を報告。 褥瘡委員看護師によるテンプレートチェック状況を報告。 教育研修実施について前月に続き報告。 8 月分のリスク因子の評価について報告。 作業療法士より、メディカルスタッフ研修会（ポジショニングについて）を実施。
7	令和 5 年 10 月 11 日	10 月褥瘡患者について報告。 エアマット 1 台故障、修理不可のため 1 台購入予定。 体位交換枕不足により保管分（予備）を病棟へ払い出すことを報告。 リハスタッフより、体位交換枕選定について今年度中に導入する方向で検討。 9 月分のリスク因子の評価について報告。 褥瘡対策委員会名簿、褥瘡対策チームの変更を報告。 褥瘡委員看護師によるテンプレートチェック状況を報告。 メディカルスタッフ研修会について報告。

回	開催日	内 容
8	令和 5 年 11 月 8 日	<p>11 月褥瘡患者について報告。</p> <p>エアマット 9 月、10 月故障分 2 台の購入について報告。</p> <p>エアマット導入患者が多く台数不足の場合は増台を検討。</p> <p>体位交換枕サンプルを取り寄せし確認。不適合のため再検討及び他病院の使用品を調査することを報告。</p> <p>10 月分のリスク因子の評価について報告。</p> <p>褥瘡委員看護師によるテンプレートチェック状況を報告。</p> <p>メディカルスタッフ研修会について報告。</p> <p>理学療法士より、メディカルスタッフ勉強会の内容について報告。</p>
9	令和 5 年 12 月 13 日	<p>12 月褥瘡患者について報告。</p> <p>エアマット 2 台故障。修理対応中について報告。</p> <p>体位交換枕サンプル 2 社を確認。40 個新規導入を検討。</p> <p>11 月分のリスク因子の評価について報告。</p> <p>褥瘡委員看護師によるテンプレートチェック状況を報告。</p> <p>メディカルスタッフ研修会実施後の評価及びテンプレート集計結果について報告。</p> <p>テンプレートの入力再確認と指導、評価マニュアル追加資料について報告。</p> <p>管理栄養士メンバー変更について報告。</p>
10	令和 6 年 1 月 10 日	<p>1 月褥瘡患者について報告。</p> <p>エアマット 1 台修理完了。1 台修理継続中について報告。</p> <p>委員長より、体位交換枕在庫数について看護、リハ部にて、ポジショニング評価の仕組みについて作成。実践した上で実数把握を行い追加の要否をすることを報告。</p> <p>12 月分のリスク因子の評価について報告。</p> <p>副委員長より、褥瘡テンプレートの評価時期について指導後 1 か月経過したが、全体へ浸透していないため、継続して指導するよう報告。</p> <p>委員長より、病院機能評価受審があるため褥瘡患者のカルテに誤りや欠如がないよう注意。</p>
11	令和 6 年 2 月 14 日	<p>2 月褥瘡患者について報告。</p> <p>エアマット修理完了について報告。</p> <p>体位交換枕に報告事項なし。</p> <p>1 月分のリスク因子の評価について報告。</p> <p>2 月看護部異動に伴い委員名簿、褥瘡対策チームの変更について報告。</p> <p>副委員長より、褥瘡写真は看護記録ではなく褥瘡記録に入れるよう、各病棟褥瘡委員より周知、指導することを報告。</p> <p>褥瘡評価時期について入院時のまま変更されていない状態のため、入力に気を付けるよう報告。</p>

回	開催日	内 容
12	令和 6 年 3 月 6 日	3 月褥瘡患者について報告。 エアマット、体位交換枕の在庫数について報告。 2 月分のリスク因子の評価について報告。 来年度褥瘡対策委員会開催日について報告。 令和 5 年度褥瘡委員活動の総括について報告。

4. 活動要約

- ・ 定例委員会において、各病棟での褥瘡発生状況と治療経過について確認と検討。
- ・ 定例委員会において、エアマット及び体位交換枕等の使用状況について確認。
 - 1) リハスタッフ、栄養士、薬剤師がその専門性を生かし、予防や栄養補助食品、薬剤に関する情報を積極的に提供。
 - 2) 褥瘡に関する学会や研修会への参加を促進。
 - 3) 定例委員会で勉強会を開催。
 - 4) 褥瘡に関する病棟スタッフ間での質問や話し合いが活発になるように、褥瘡対策委員が積極的に啓蒙活動を行う。
- ・ 病院機能評価受審に伴い、褥瘡対策チーム新設、褥瘡テンプレート修正、評価マニュアルの追加及び褥瘡記録について、再度確認をして周知、指導を実施。

臨床検査適正化委員会

1. 活動目的

本委員会は、当院において臨床検査を適正かつ円滑に遂行するための検討を行うことを目的とする

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長	萩井 譲士	(副院長)
委員	鎌田 孝篤	(病院長)
	清野 聡	(副院長)
	中山 登美子	(臨床検査技師長代行)
	花田 和大	(薬剤師)
	千葉 順子	(看護師長)
	佐藤 奈奈	(看護師長)
	齋藤 理恵	(医事課長)
	永井 莉央	(医事課)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和5年4月19日	11月実施青臨技サーベイの結果について NT-proBNP 治験の終了と入院時採血セットへの追加について
2	令和5年5月17日	頸動脈エコーのデモ実施について 検査技師1名(検体検査担当)病欠の報告
3	令和5年6月21日	ECG用電動ベッドの交換と手すりの設置について 頸動脈エコーの操作説明会実施について 新入職員対象の心電図検査研修会について 3月実施ワコーサーベイ(便潜血)の結果について 2月実施ニッターボーサーベイ(CRP, PALB, UALB)の結果について 検査技師1名(検体検査担当)病欠から復帰の報告 クボタ遠心機2420のスイングロータとバケットの交換について TBA120FR(生化学)のスターラー交換について Banjo(血液型)の定期点検実施 入院時コロナの検査をコバス Liat から抗原定量へ切り替え
4	令和5年7月19日	CLINITEK(尿定性)納品 ABI心音センサーの感知不良について コバス Liat のバージョンアップについて フィリップスエコー、TBA120FR(生化学)の定期点検について SRL 総合検査案内が PDF データ版の発行となった件について 富士フィルム頸動脈エコーの操作説明会実施について 血小板凝集能検査終了について
5	令和5年8月16日	CS2500(凝固)の定期点検実施 検査技師1名(生理検査担当)病欠の報告

回	開催日	内 容
6	令和5年9月20日	TBA120FR(生化学)の定期点検実施 6月実施デタミナーサーベイ(脂質, HbA1c)の結果について 5月実施ワコーサーベイ(尿蛋白)の結果について ABI 加圧不良あり、代替機で対応 検査技師1名(生理検査担当)病欠から復帰の報告
7	令和5年10月18日	HISCL(免疫)の部品交換実施 検査技師1名(生理検査担当)勤務日数変更について
8	令和5年11月15日	コロナの検査、抗原定量からコバス Liat へ切り替え
9	令和5年12月20日	8月実施シスメックスサーベイ(Dダイマー)の結果について 病院機能評価模擬審査の際の、パニック値報告後の対応について フィリップス頸動脈エコーのプロープに不具合あり、交換 フィリップス, GE 頸動脈エコーのデモ実施 i-STAT(血ガス)のバージョンアップ実施 BIORAD(血液型)の定期点検実施
10	令和6年1月17日	HISCL(免疫)の部品交換実施 APTT 試薬切り替えについて 検査技師1名(生理検査担当)勤務時間変更について 富士フィルム頸動脈エコーのデモ実施
11	令和6年2月21日	11月実施シノテストサーベイ(Zn, UIBC)の結果について 頸動脈エコーHD15の部品交換実施 HISCL(免疫)の部品交換実施 検査技師1名(生理検査担当)病欠の報告 フィリップス頸動脈エコーの定期点検実施 キャノン頸動脈エコーのデモ実施 10月実施ニッターボーサーベイ(NH3)の結果について 11月実施青森県臨床検査技師会サーベイの結果について
12	令和6年3月22日	水痘・帯状疱疹ウイルス抗原検査開始 細胞診報告書の様式変更について 検査技師1名(生理検査担当)病欠延長の報告 XN1000(末血)の定期点検実施 TBA120FR(生化学)の定期点検実施 フィリップス頸動脈エコーのデモ実施 11月実施デンカサーベイ(RPR, TPAb)の結果について CK アイソザイム一時受託中止(試薬自主回収のため)

3. 活動要約

- ・ 検査データの精度向上に努める
- ・ 最新の検査項目の提供
- ・ 検査機器の保守、新機種の検討
- ・ 研究活動
- ・ 治験への参加協力

薬事審議委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医薬品の採用及び削除に関して審議し、医薬品適正使用を目的に活動するものである。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長 馬場 佳子 (内科部長・薬剤室長・医薬品情報室長・医薬品安全管理室長)
委員 清野 聡 (副院長)
白戸 弘志 (内科副部長)
鳥谷部 翔 (薬剤師長・医薬品安全管理責任者)【事務局】
藤田 尚子 (医薬品情報室副室長)
野沢 正人 (事務部長)
桑田 武人 (企画運営課長代行)【事務局】
佐々木 哲裕 (医事課係長)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和5年4月10日	規定・委員の確認 パップ剤の整理検討 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 委員会年間スケジュール 流通不良品・出荷調整品について
2	令和5年5月15日	プラザキサについて 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について

回	開催日	内容
3	令和5年6月12日	タリージェについて 生理食塩液について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
4	令和5年7月10日	タケキャブ錠について アジルバ錠について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
5	令和5年8月7日	アジルバ錠について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
6	令和5年9月11日	注射用カリウム製剤について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
7	令和5年10月16日	採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
8	令和5年11月13日	委員の確認 ホストイン静注について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について 沢井製薬九州工場の不正試験による影響について

回	開催日	内容
9	令和5年12月11日	エンレスト錠について アルガトロバン注について レクビオ皮下注について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
10	令和6年1月15日	グルトパ注について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
11	令和6年2月19日	未承認薬・医薬品の適応外使用について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
12	令和6年3月11日	未承認薬・医薬品の適応外使用について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について

4. 活動要約

- ・事務局である薬剤室薬剤師が各製造販売会社ホームページ、MR 訪問、添付文書やインタビューフォームなどから情報を入手、資料を作成し、薬事審議委員会にて審議する。
- ・県内医療機関の採用状況及び流通を定期的に聴取し評価する。
- ・採用中の先発医薬品の中で、①適応に違いがない、②形状や大きさが先発と似ている、③後発医薬品のみの特徴がある、など変更可能と考えられる医薬品を積極的に後発品に切り替える。新規採用の場合でも可能であれば後発医薬品とする。
- ・新規採用薬、採用変更及び中止薬を院内に回覧し周知する。
- ・デッドストック情報を毎月共有し不動在庫にならないようにする。
- ・後発医薬品採用割合を毎月確認する。
- ・問題発生があれば速やかに薬事審議委員会に報告し採用継続の適否を検討する。

診療記録管理委員会

1. 活動目的

診療記録等の診療情報資料及び電子保存システムを適正かつ効率的に管理し、診療情報管理業務並びに電子保存システムの円滑な運営を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	(病院長)
委員	鳥谷部 翔	(薬剤師長)
	大川 麻美	(看護師長)
	三浦 康彦	(理学療法副室長)
	小野 公久	(リハ士長・作業療法士)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	外崎 佳奈子	(臨床検査技師)
	鳴海 悦子	(管理栄養士長)
	立林 修	(事務部次長)
	齋藤 理恵	(医事課長)
	鳴海 佳織	(医事課係長医事担当)
	今田 信之	(医事課主任医療情報担当)
	三浦 智靖	(医事係医療情報担当)
	佐々木 哲裕	(医事課係長医事担当)【診療記録管理者】

3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和5年4月7日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について クリニカルパスの検討について 診療記録の点検について（量的監査・質的監査） 診療記録等の廃棄について テンプレート・マスタ等の更新について 対応事項の進捗について 旧電子カルテサーバーの廃棄について サーバー定期再起動について 情報セキュリティインシデント調査委員会報告書について
2	令和5年5月12日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について クリニカルパスの検討について 診療記録の点検について（量的監査・質的監査） 画像検査オーダー入力方法の変更について ラゲブリオカプセル投与時の同意書の取得について テンプレート・マスタ等の更新状況について 対応事項の進捗について 旧電子カルテサーバーの廃棄について サーバー定期再起動について

回	開催日	内 容
3	令和5年6月2日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について クリニカルパスの検討について 診療記録の点検について（量的監査・質的監査） 画像検査オーダー入力方法の変更について テンプレート・マスタ等の更新状況について 対応事項の進捗について 電子カルテシステム運用マニュアルの見直しについて サーバー定期再起動について
4	令和5年7月7日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について（量的監査・質的監査） 画像検査オーダー入力方法の変更について テンプレート・マスタ等の更新状況について 対応事項の進捗について 連絡体制図(情報セキュリティインシデント発生時)の作成について 電気設備更新による停電について サーバー定期再起動について
5	令和5年8月4日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について（量的監査・質的監査） 画像検査オーダー入力方法の変更について 入院診療計画書の様式変更について 初診時データベース・再診時データベースの入力チェックについて テンプレート・マスタ等の更新状況について 対応事項の進捗について カルテ端末のセキュリティソフトについて サーバー定期再起動について
6	令和5年9月1日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 初診時データベース・再診時データベースの入力チェックについて テンプレート・マスタ等の更新状況について 対応事項の進捗について 電子カルテバージョンアップ・サーバー再起動について サーバー定期再起動について
7	令和5年10月6日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 入院診療計画書の様式変更について テンプレート・マスタ等の更新状況について 対応事項の進捗について サーバー定期再起動について

回	開催日	内 容
8	令和5年11月10日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 個人情報の利用目的の変更について テンプレート・マスタ等の更新状況について 対応事項の進捗について 電気設備更新による停電について サーバー定期再起動について
9	令和5年12月1日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について テンプレート・マスタ等の更新状況について 対応事項の進捗について パスワード設定の変更について（電子カルテ） アクセスログ定期監査の実施について（電子カルテ） サーバー定期再起動について
10	令和6年1月5日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について テンプレート・マスタ等の更新状況について 対応事項の進捗について パスワード設定の変更について（電子カルテ） アクセスログ定期監査の実施について（電子カルテ） サーバー定期再起動について
11	令和6年2月9日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について テンプレート・マスタ等の更新状況について 対応事項の進捗について メールアドレスの設定変更について アクセスログ定期監査の実施について（電子カルテ） サーバー定期再起動について
12	令和6年3月1日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について テンプレート・マスタ等の更新状況について 対応事項の進捗について アクセスログ定期監査の実施について（電子カルテ） サーバー定期再起動について

4. 活動要約

- ・不備があると考えられる診療記録、電子カルテを始め各システム等の問題点について、検討及び提案し改善に努めた。

臨床倫理委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンターの職員が行う医療活動が、臨床倫理上の観点から適切なものになることを目指す。病院内の診療に求められる倫理性の適正な保持、及び促進に必要な検討、助言を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長	岩田 学	(副院長)
副委員長	佐々木 都子	(内科部長・リハ部長)
委員	樋口 三枝子	(看護部長)
〃	千葉 順子	(看護師長・医療安全推進室副室長)
〃	算用子 暁美	(リハ部技師長・作業療法士)
〃	鳥谷部 翔	(薬剤師長)
〃	鳴海 悦子	(管理栄養士長)
〃	川村 隆行	(診療放射線技師長)
〃	中山 登美子	(臨床検査技師長代行)
〃	工藤 慎	(医療相談室長)
〃	野沢 正人	(事務部長)
〃	立林 修	(事務部次長・庶務課長代行) 【事務局】
外部委員	伊藤 佑輔	(顧問弁護士)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和5年9月4日	委員会発足にあたり、臨床倫理に関する指針、委員会規程、審議申請の流れなどを確認 副委員長の選任 職員及び患者・家族への周知方法について確認 →ホームページ、院内掲示等を活用し、周知する 臨床倫理に関する動画視聴による委員研修の実施
2	令和5年12月25日	倫理的問題・事案の現状把握（収集方法）についての検討 職員対象の臨床倫理研修会の開催について（eラーニングの活用）

4. 活動要約

- ・病院機能評価受審を見据え、令和5年8月に本委員会を新規に発足した。
- ・初年度は、本委員会の目的、役割などの職員への周知、臨床倫理に関する知識習得に主眼を置いて活動した。

倫理審査委員会

1. 活動目的

本委員会は、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医学・医療の倫理的問題について協議するとともに、病院長又は医療部長の諮問を受けて、当院に所属する者が当院において行う医療行為、医学研究及び教育等が医の倫理に関するヘルシンキ宣言等の趣旨に沿って倫理的配慮の下に行われるか審査する。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長 岩田 学 (副院長)

委員 馬場 佳子 (内科部長)

樋口 三枝子 (看護部長)

【病院外部の学識経験者】

青森県立保健大学健康科学部

特任教授 神成 一哉

前青森県立保健大学健康科学部理学療法学科

准教授 勘林 秀行

社会保険労務士 石塚 紀子

【事務局】

盛 啓介 (庶務課係長)

舘田 廣子 (庶務係)

外崎 春香 (医学研究室)

3. 活動記録

A 審議あり (変更申請を除く新規申請のみ表示)

承認日	研究名	申請者
令和5年6月13日	脳卒中急性期患者の嚥下内視鏡スコアによるリハビリ後の経口摂取自立の予後予測	非常勤医師 藤田彩香 (弘前大学医学部附属病院リハビリテーション科助手)
令和5年8月21日	亜急性期脳卒中患者におけるトイレ動作・乗・移動(車椅子)・移動(歩行)の予測モデルの開発と内部検証	理学療法士 齋藤 祐希
令和6年1月23日	回復期脳卒中上肢麻痺に対する ReoGo-J 併用効果と適応の検討	作業療法士 渡部 清寛
令和6年3月29日	脳卒中患者における、自宅退院後の血圧測定の習慣化について	看護師 齋藤 のあ

B 審議を必要としないもの（委員長決裁）

承認日	研究名	申請者
令和 5 年 4 月 4 日	発症時点におけるサルコペニアが発症 4 週時・8 週時の ADL 能力に与える影響	理学療法士 阿部 愛
令和 5 年 4 月 4 日	脳卒中発症時点におけるサルコペニア者及び非サルコペニア者の筋肉量の経過に関する検討	理学療法士 尾田 遥香
令和 5 年 4 月 13 日	当院におけるアンデキサネットアルファの導入と使用状況について	薬剤師長 鳥谷部 翔
令和 5 年 6 月 6 日	青森県における急性脳主幹動脈閉塞症に対する rt-PA 静注療法および脳血管内治療の実態調査	内科部長 齋藤 新
令和 5 年 8 月 21 日	クイックバックを用いたハザードスドラック被爆対策への取り組み	薬剤師 世永 壮

4. 活動要約

- ・倫理審査は、紙上にて実施し、各委員が審査の上、必要に応じて申請者へ質問、指摘を行った。
また、不備な点については、修正、追加の上再申請を求めた上で再審査した。
- ・厚生労働省「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第 8 章の倫理審査委員会に適合するため、規程等を改定した。
- ・令和 5 年度 新規研究申請件数
審議あり：4 件、審議なし（委員長決裁）：5 件
※申請された研究はすべて承認

衛生委員会

1. 活動目的

衛生委員会の構成、運営、調査審議事項などを定め、衛生管理活動の円滑な推進を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	(病院長)
	高橋 広希	(内科部長・産業医)
	清野 聡	(副院長・衛生管理者)
	野沢 正人	(事務部長)
	樋口 三枝子	(看護部長)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	算用子 暁美	(リハ部技師長・作業療法士)
	山本 賢雅	(理学療法室長)
	佐藤 奈奈	(感染対策室副室長)
	佐々木 俊	(庶務課主任代行)
	立林 修	(事務部次長・庶務課長代行) 【事務局】

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和5年4月26日	感染症罹患状況、労災事故（昨年度件数、過年度推移）について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について 春の健康診断実施について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 産業医の巡回（医学研究室、物品管理室、ごみ収集庫、不潔リネン庫）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
2	令和5年5月31日	感染症罹患状況、労災事故について ※新型コロナ感染症5類移行に伴い就労制限緩和 春の健康診断実施について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 産業医の巡回（臨床検査室、生理検査室、放射線室）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
3	令和5年6月28日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 春の健康診断の実施状況について 産業医の巡回（医局、薬剤室、D I室）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について

回	開催日	内 容
4	令和 5 年 7 月 26 日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 健康診断の実施状況及び保健所立入検査指導事項について 産業医の巡回（栄養室、厨房、事務室）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
5	令和 5 年 8 月 25 日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、研修）について 健康診断後の要精検者再受診勧奨について 産業医の巡回（施設管理課、ボイラー室・機械室、屋上）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
6	令和 5 年 9 月 27 日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、研修）について 産業医の巡回（5病棟、感染対策室）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
7	令和 5 年 10 月 25 日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用）、研修受講結果について 産業医の巡回（1病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
8	令和 5 年 11 月 29 日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施について 産業医の巡回（2病棟・中央材料室）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 職員の喫煙率報告、禁煙教育について
9	令和 5 年 12 月 27 日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施状況について 産業医の巡回（4病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
10	令和 6 年 1 月 31 日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施結果について 産業医の巡回（3病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 職員の禁煙教育研修実施について

回	開催日	内 容
11	令和 6 年 2 月 28 日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診の結果報告、放射線被ばく線量状況について 産業医の巡回（居宅・訪問・地域連携室、1階リハ室、歯科、面談室）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
12	令和 6 年 3 月 27 日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用）について 産業医の巡回（外来、内視鏡室、超音波室）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について

4. 活動要約

- ・事業者側と雇用者側からの委員構成で職場環境の点検と対策について検討した。
- ・感染症罹患状況の把握、新型コロナウイルス感染症については5類移行に伴い就労制限緩和となった。
- ・前年度に引き続き、冬の路面凍結による転倒事故防止対策として、職員通用口付近に融雪および電気マットを敷き、注意喚起の回覧、掲示を実施した。
- ・労災事故件数 骨折1件、打撲・捻挫5件、患者行為による受傷6件、針刺し1件、その他3件と昨年度の12件に対し4件増加した。患者行為による受傷が昨年同様多かった。
- ・放射線被ばく防止の対応、健康管理についての現況報告は、対象者全員 線量限度内。
- ・健康診断で所見のあった職員へのフォローアップをした。
春の受診者数 192名、要精検者数 26名（13.5%）
秋の受診者数 452名、要精検者数 34名（7.5%）
- ・時間外労働（長時間労働者）については、月80時間超の該当者が令和6年2月に1名あり。一時的な業務量増加によるものとの理由で、当該職員より産業医による医師面談を希望しない旨の申し出があり、面談実施なし。
- ・メンタルヘルスケアについて年1回の研修会の実施
新型コロナウイルスの感染対策のため、資料による学習研修とした。
「早く気づけるストレスケア」「自分でできるストレス対処法」（PDF資料）を活用→受講完了399名
- ・ストレスチェックの実施の結果：受検率98.3%、受験者に占める高ストレス判定者の割合14.8%
- ・職員の禁煙教育の推進のため、職員健診の間診から得られる喫煙歴をもとに喫煙率を職種別に把握し、資料閲覧形式による禁煙教育研修会を実施した。

部署代表者委員会

1. 活動目的

本委員会は、当財団が少しでも働きやすい環境となるよう、就業規則等の作成・変更にあたっての意見や要望を職員から聴取・集約した上で、財団との交渉や、財団が必要とする意見交換に応じ、法令で定められた書面による財団との協定の締結・変更及び解約を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長	診療部代表	川村 隆行	(診療放射線技師長)
委員	医局代表	白戸 弘志	(内科副部長)
	看護部代表	橋本 祐樹	(看護主任)
		佐藤 純子	(看護主任)
	リハ部代表	齋藤 曜子	(リハ主任・作業療法士)
		荒谷 光太郎	(理学療法士)
	事務部代表	飯塚 聖貴	(施設管理課係長代行)

3. 委員会開催記録

回	日付	内 容
1	令和5年4月19日(水)	定期昇給・賞与支給率ならびに看護職員等処遇改善手当の支給についての協定書を財団と締結した
2	令和5年6月7日(水)	委員長が職員代表者として適任であるか各部署に確認するための書面を回覧した⇒過半数以上の職員から賛同を得られた
3	令和5年10月16日(月)	新型コロナウイルス陽性患者の訓練を実施する職員に対して特殊勤務手当を支給するための覚書を財団と交わした
4	令和5年10月16日(月)	新型コロナウイルス感染に対応する看護職員(看護専門チーム)に対し以前より特殊勤務手当を支給していたが、再度要件を見直し新たに覚書を交わした
5	令和5年11月1日(水)	就業規則・給与規定等の電子データを電子カルテ端末で閲覧できるようになった
6	令和5年11月9日(木)	就業規則(組織・職制規程)の一部改正について意見を文書で提出するよう財団より委員会へ依頼あり⇒委員会から異議なし
7	令和6年3月15日(金)	就業規則等の一部改正について意見を文書で提出するよう財団より委員会へ依頼あり⇒委員会から異議なし
8	令和6年3月22日(金)	令和6年度の時間外労働及び休日労働に関する労使協定書を財団と締結した
9	令和6年3月22日(金)	看護助手に対して看護補助者処遇改善手当を支給するための協定書を財団と締結した
10	令和6年3月22日(金)	当財団の保育園利用料(保育料・給食費・おやつ代)を令和6年4月以降毎月の給与から控除して支払いを可能とするために財団と協定書を締結した

4. 活動要約

令和5年度は新型コロナウイルス感染患者専任看護師に対して日勤1回当たり2500円、夜勤1回当たり5000円の特殊勤務手当を支給したり、新型コロナウイルス感染患者の訓練を実施する職員(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)に対しても1回の訓練(1単位20分)につき500円の特殊勤務手当が支給となった。

さらに、看護助手1人当たり月額上限6000円の看護補助者処遇改善手当を支給することにもなり、手当の支給が少しでも業務負担軽減につながることを期待したい。

また、男子更衣室と女子更衣室に設置している意見箱に職員からの意見や要望等が4件寄せられた。内容としてはサービス規律・人事異動・勤務体制に関することであり、委員会で検討した結果を財団事務局に申し出して改善に向けての対策を講じて頂くようお願いした。

委員会としては職員の皆様に意見箱を活用してもらい得られた意見・要望等を参考に労働環境の整備を微力ながらも計画・実行していきたいと考えている。

教育研修委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける職員の学習を奨励し、①職業人として自己を研鑽する姿勢を身につける、②医療人として患者のために奉仕する心を学ぶ、③プロフェッショナルとして個々の知識、スキルを高めるための支援、及び環境調整をするものである。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長	馬場 佳子	(内科部長)	
副委員長	中田 智子	(副看護部長)	
委員	鳥谷部 翔	(薬剤師長)	熊澤 ゆかり (臨床検査室主任)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)	鳴海 悦子 (管理栄養士長)
	三上 小夜香	(看護師長)	長谷川 国俊 (理学療法室副アドバイザー)
	木村 勇貴	(リハ主任・作業療法士)	盛 亨子 (言語聴覚室長)
	宇佐美 夏希	(医療相談室副室長)	齋藤 佑夏子 (医療相談員)
	奈良 麻里	(医事課主任医師補助担当)	澤田 葉奈 (財務経理課主任)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和5年4月28日	研修旅費の執行状況 病院機能評価に関する説明 WGメンバーについて
2	令和5年5月26日	研修旅費の執行状況 新WGの活動状況報告
3	令和5年6月23日	研修旅費の執行状況 各WGからの報告 復命書作成について
4	令和5年7月28日	研修旅費の執行状況 各WGからの報告
5	令和5年8月18日	研修旅費の執行状況 メディカルスタッフ勉強会について
6	令和5年9月22日	研修旅費の執行状況 各部署の研修計画進捗状況報告 メディカルスタッフ勉強会の時間外請求について
7	令和5年10月27日	研修旅費の執行状況 各部署の研修評価進捗状況報告
8	令和5年11月17日	研修旅費の執行状況 各部署の研修評価データ管理 来年度の戦略的人材育成費について

回	開催日	内 容
9	令和5年12月22日	研修旅費の執行状況 来年度の予算について 研修参加について
10	令和6年1月26日	研修旅費の執行状況 研修会参加者一覧について
11	令和6年2月16日	研修旅費の執行状況 今年度の新人研修と部署ごとの研修評価について 次年度の研修計画について
12	令和6年3月24日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）

4. 活動要約

- ・ 出張旅費と学術助成の計画と執行状況の確認をした。
- ・ 戦略的人材育成費の内容と学会研修旅費の予算を検討し、決定した。
- ・ 8月からメディカルスタッフ勉強会を再開した。
- ・ 新人研修や各部署の研修計画をまとめ、研修評価を促した。

施設運用委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター(以下「センター」という。)における施設運用についての意見及び要望について検討し、その適正化を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長 清野 聡 (副院長)
 委員 樋口 三枝子 (看護部長)
 算用子 暁美 (リハ部技師長)
 川村 隆行 (診療放射線技師長)
 野沢 正人 (事務部長)
 工藤 博人 (施設管理課長)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和5年4月6日	点検表の配布について 2022年度総括 他
2	令和5年5月11日	点検表について審議検討した ・第一種圧力容器(オートクレーブ滅菌)の運用について 他
3	令和5年6月1日	点検表について審議検討した ・ATM撤去後のスペース活用について 他
4	令和5年7月6日	点検表について審議検討した ・受電設備の機器更新工事(前期、停電あり)について 他
5	令和5年8月3日	点検表について審議検討した ・畳の更新(リハ室)、災害用備蓄品の保管場所見直し 他
6	令和5年9月7日	点検表について審議検討した ・アトリウム遮光/遮熱カーテン設置(3病棟) ・冷暖ガラスコーティング施工(歯科診察室、ラウンジ) 他
7	令和5年10月5日	点検表について審議検討した ・空調(ACP-3系統)更新工事 他
8	令和5年11月2日 (紙上会議)	点検表について審議検討した ・受電設備の機器更新工事(後期、停電あり)について 他
9	令和5年12月7日 (紙上会議)	点検表について審議検討した ・空調(ACP-⑩系統)更新工事、壁補修(アンギオ室) 他
10	令和6年2月1日	点検表について審議検討した ・医療廃棄物保管庫(感染性/非感染性)区分見直し 他
11	令和6年3月7日 (紙上会議)	点検表について審議検討した ・LED照明更新工事(東棟)、2024年度委員会日程について 他

※令和6年1月は開催なし。

4. 活動要約

- ・第1種圧力容器(オートクレーブ滅菌)廃止申請(中央材料室)。
- ・環境整備(4病棟(仮眠室))。
- ・畳の更新(リハビリ室(OT))。
- ・災害用備蓄品の保管場所見直し(手術室(中央材料室1、更衣室通路、はきかえ))。
- ・受電設備の機器更新工事(前期、停電工事)。
- ・冷暖ガラスコーティング施工(モール棟「1F 歯科診察室」、「2F ラウンジ」)。
- ・遮光/遮熱シート取り付け(3病棟アトリウム)。
- ・環境整備(薬剤室(倉庫含む))。
- ・空調更新工事(ACP-③系統(416号室～435号室))。
- ・壁補修(アンギオ室)。
- ・受電設備の機器更新工事(後期、停電工事)。
- ・空調更新工事(ACP-⑩系統(222号室～226号室、353号室～367号室))。
- ・ATM撤去後のスペース有効利用(面談室、発熱外来室)。
- ・医療廃棄物保管庫(感染性廃棄物/非感染性廃棄物)の区分見直し。
- ・LED照明更新工事(東棟)。

広報委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター(以下「センター」という。)の医療情報の広報を的確に推進するため、センターに広報委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長 佐々木 都子 (内科部長)
 委員 樋口 三枝子 (看護部長)
 算用子 暁美 (リハ部技師長)
 鳥谷部 翔 (薬剤師長)
 盛 啓介 (庶務課係長)
 佐々木 俊 (庶務課主任代行)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和5年4月20日	ホームページ内写真の入替え ホームページ各ページの情報更新 病院機能評価受審に伴うホームページ掲載事項について 年報作成
	令和6年5月 (紙上開催)	ホームページ更新内容の報告
2	令和5年9月1日	令和4年度の「年報」情報を各部署へ依頼 年報内のチーム・ワーキングの掲載について検討 広報委員会の開催時期と規程案作成について 実績指数の掲載について ホームページの情報更新 血管内治療ページの作成案 脳卒中市民公開講座のお知らせについて
3	令和5年12月8日	広報委員会の規程変更案について 実績指数の掲載について ホームページの情報更新 血管内治療セクションの文面案について 院内保育園スマイルキッズの3D見学サイトのホームページ 掲載について

回	開催日	内 容
4	令和 6 年 2 月 9 日 (紙上開催)	業者とリモート打合せ 広報委員会の規程変更案 ホームページの情報更新 新しいホームページ業者の契約内容について 沿革に診療科目変更を掲載 血管内治療セクションの文面案について セカンドオピニオンのホームページ掲載場所について 来年度（令和6年度）の委員会日程

4. 活動要約

- ・ホームページ内の種々の修正を行った。
- ・年報第 10 号（令和 4 年度）が完成し、3 月にホームページ上で公開した。

患者サービス委員会

1. 活動目的

本委員会は、各部門が連携協調を図り、業務の円滑な処理および効率性を確保することにより、病院を利用する患者および患者の家族等（以下患者等）へのサービス向上に資することを目的とする。

（内容）①患者等への対応サービスの向上に関すること。②患者等の院内活動にかかるサービス向上に関すること。③患者等からの苦情・意見の収集および対応に関すること。④ボランティアの受け入れおよび活動内容に関すること。⑤その他の医療サービスに関すること。

構成員 ※令和6年3月末現在

委員長	人見 博康	(内科部長)		
副委員長	三上 小夜香	(看護師長)	小山 裕美	(リハ主任代行・理学療法士)
アドバイザー	野沢 正人	(事務部長)		
委員	千葉 順子	(医療安全推進室副室長)	関 晃治郎	(診療放射線技師)
	鳴海 悦子	(栄養士長)	漆沢 修治	(看護主任代行)
	橋本 祐樹	(看護主任代行)	小野 るり子	(副看護師長)
	桑村 美佳	(看護主任)	工藤 詩織	(看護師)
	五十嵐 沙弥香	(看護主任)	花岡 葉子	(リハ士長・作業療法士)
	成田 理紗	(言語聴覚士)	成田 笑美	(医療相談員)
	葛西 志保	(医事課主任)	前田 一成	(企画運営課)

2. 活動記録

回	開催日	内容
1	令和5年4月20日	3月分退院患者アンケート調査結果の報告 令和5年度規約・委員・活動予定の確認 退院患者アンケート等の運用見直し
2	令和5年5月18日	4月分退院患者アンケート調査結果の報告 各委員より退院患者アンケート運用の変更案を発表 (設問、文書様式等)
3	令和5年6月15日	5月分退院患者アンケート調査結果の報告 退院患者アンケートを新様式での実施開始 活動の日程等確認 (ゴミ拾い、七夕)
4	令和5年7月20日	6月分退院患者アンケート調査結果の報告 活動報告 (ゴミ拾い、七夕) 接遇研修の日程等の連絡
5	令和5年8月17日	7月分退院患者アンケート調査結果の報告 外来患者アンケートの実施準備 (記入用紙の確認) 接遇研修の実施準備 (要綱を確認)
6	令和5年9月21日	8月分退院患者アンケート調査結果の報告 外来患者アンケートの実施準備 (記入用紙の確認) 接遇研修の実施準備 (スケジュール、担当業務の共有)

回	開催日	内容
7	令和5年10月19日	9月分退院患者アンケート調査結果の報告 活動報告（接遇研修） 接遇研修欠席者対応について
8	令和5年11月16日	10月分退院患者アンケート調査結果の報告 外来患者アンケートを新様式での実施開始 接遇研修欠席者対応（感想文提出の呼びかけ） 活動の日程等確認（クリスマスツリーの設置）
9	令和5年12月21日	11月分退院・外来患者アンケート調査結果の報告 接遇研修欠席者対応（感想文提出の呼びかけ） クリスマスツリーの撤去
10	令和6年1月18日	12月分退院・外来患者アンケート調査結果の報告 接遇研修欠席者対応（感想文の抜粋一覧等を共有） 次年度へ向けた委員会活動に対する要望等の確認
11	令和6年2月15日	1月分退院・外来患者アンケート調査結果の報告 次年度委員の選出について
12	令和6年3月21日	2月分退院・外来患者アンケート調査結果の報告 今年度の評価・次年度の課題について

3. 活動要約

【主な行事】

開催日	内容
令和5年6～7月	七夕飾りの設置・片づけ
令和5年7月7日	清掃活動（ゴミ拾い） 参加者：42名
令和5年9月25日～29日	接遇研修（集合研修） テーマ：「心からの接遇～患者さま満足を実現するために～（約1時間）」 参加者：346名（全職員対象）
令和5年10月30日 ～11月13日	接遇研修（eラーニングビデオ研修） テーマ：「接遇マナーの基本「あいさつ」で変わるおもてなしの心（約30分）」 参加者：108名（対面研修の欠席者）
令和5年11～12月	クリスマスツリー飾りの設置・片づけ

【患者アンケート（患者等からのご意見）】 ※別添参照

- ・退院患者アンケート：年間回収率 54.55%

旧様式：23.5%（令和5年4月～令和5年6月まで）

新様式：65.0%（令和5年7月～令和6年3月まで）

※令和5年7月より様式変更したため、2種類の期間に分けて記載している

- ・外来患者アンケート：年間回答者：200名（令和5年11月～令和6年3月まで）※別紙参照

◎ご意見・ご不満の内容

- ・食事について（味付け、メニュー、量 等）
- ・医師、看護師他の接遇（言葉遣い、説明不足、ナースコール対応の遅さ 等）
- ・環境・設備について（室温・照明、トイレ環境、換気扇の騒音 等）
- ・診察までの待ち時間の長さ（外来受診）
- ・その他：面会制限の緩和について（面会時間の増加、予約の有無 等）
 - 病棟アナウンスと現場での業務の違い（本人確認）
 - 業務改善の要望（タブレット端末を用いた電子記録）
 - 通信環境の改善（Wi-Fiの電波が弱い）

【総括】

◎アンケート対応の改善

- ・これまで20～30%と低い水準であったため、今年度からは運用方法を見直した。
 - ⇒アンケート内容の更新、用紙の配付・回収時期を明確に規定 等その結果、今年度の目標としていた「回収率50%以上」を達成した。次年度もアンケート業務を継続して、意見の回収・把握を試みる。
 - ⇒特に「スタッフの接遇」に関する意見をいただくことが多かったため、引き続き課題として対応していきたい。
- ・外来患者の意見に目を向けるため、新たに外来患者アンケートの配布、回収を開始した。

◎行事活動

- ・計画した行事について予定通り実施できた。
- ・接遇研修は集合研修、ビデオ研修に分けて実施した。

（集合研修）

近年は感染対策の影響で実施できなかった集合研修を感染対策室から許可を得て実施した。内容は参加者に意見を聞く、隣の方と実際に挨拶する等の実技を交えた基本的なものであったが、各々の接遇を見直す良いきっかけになったと思われる。医療的な接遇の要望や研修時間の長さ等について意見をいただき、講師に確認したが全職員対象での実施は困難とのことだった。今後とも年1回の接遇研修を必須として、患者対応等に繋がられるようにしていきたい。

（ビデオ研修）

集合研修に参加できなかった方を対象に実施した。内容は過去の動画を使用して、その感想文を提出することで参加とみなした。しかし前年度と同じ内容であるとの意見をいただき、次回は別の研修内容を検討する必要がある。

◎その他

- ・ご意見・ご不満に関して、真摯に受け止め、原因・状況を確認し再発防止に努め、サービス向上につなげた。
- ・環境・設備等に関して、施設管理部門と連携し解決を図り、安心安全な環境づくりに努めた。

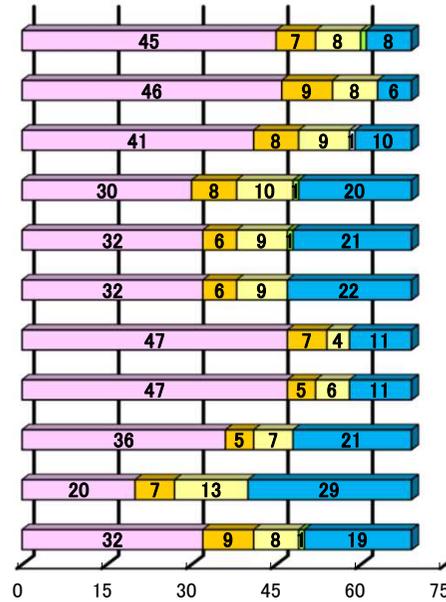
退院患者さんへのアンケート調査結果 (年間集計) 令和5年4月1日～6月30日

(・回答者数: 69名 ・退院患者数: 293名 ・回収率: 23.5%)

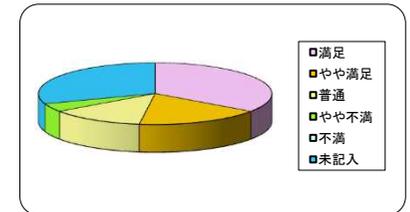
Q1. スタッフの対応サービスはどうか？

Q3. 食事の満足度について(治療食)

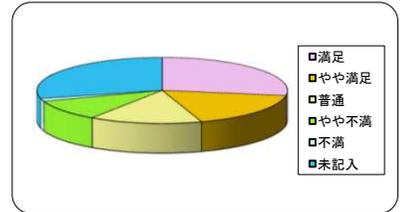
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
医師	45	7	8	1	0	8	69
	65.2%	10.1%	11.6%	1.4%	0.0%	11.6%	100.0%
看護師	46	9	8	0	0	6	69
	66.7%	13.0%	11.6%	0.0%	0.0%	8.7%	100.0%
病院受付	41	8	9	0	1	10	69
	59.4%	11.6%	13.0%	0.0%	1.4%	14.5%	100.0%
薬剤師	30	8	10	1	0	20	69
	43.5%	11.6%	14.5%	1.4%	0.0%	29.0%	100.0%
放射線技師	32	6	9	1	0	21	69
	46.4%	8.7%	13.0%	1.4%	0.0%	30.4%	100.0%
検査技師	32	6	9	0	0	22	69
	46.4%	8.7%	13.0%	0.0%	0.0%	31.9%	100.0%
訓練スタッフ	47	7	4	0	0	11	69
	68.1%	10.1%	5.8%	0.0%	0.0%	15.9%	100.0%
医療相談員	47	5	6	0	0	11	69
	68.1%	7.2%	8.7%	0.0%	0.0%	15.9%	100.0%
栄養士	36	5	7	0	0	21	69
	52.2%	7.2%	10.1%	0.0%	0.0%	30.4%	100.0%
売店スタッフ	20	7	13	0	0	29	69
	29.0%	10.1%	18.8%	0.0%	0.0%	42.0%	100.0%
清掃スタッフ	32	9	8	1	0	19	69
	46.4%	13.0%	11.6%	1.4%	0.0%	27.5%	100.0%



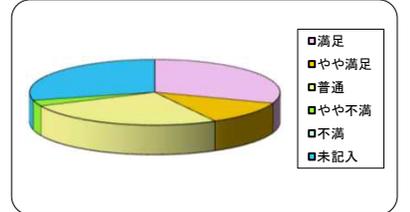
温度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入
1 満足	24					
2 やや満足		12				
3 普通			9			
4 やや不満				3		
5 不満					0	
6 未記入						21
計	69					100%



味付け	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入
1 満足	19					
2 やや満足		12				
3 普通			10			
4 やや不満				7		
5 不満					1	
6 未記入						20
計	69					100%

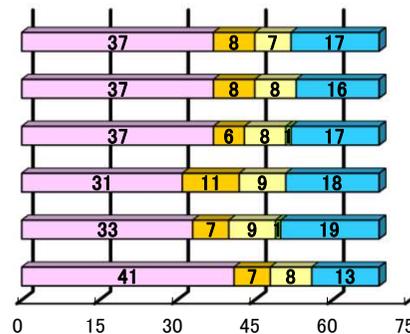


量	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入
1 満足	21					
2 やや満足		8				
3 普通			18			
4 やや不満				2		
5 不満					0	
6 未記入						20
計	69					100%



Q2. 当院の設備について

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
リハビリ施設	37	8	7	0	0	17	69
	53.6%	11.6%	10.1%	0.0%	0.0%	24.6%	100.0%
入浴設備	37	8	8	0	0	16	69
	53.6%	11.6%	11.6%	0.0%	0.0%	23.2%	100.0%
トイレの清潔	37	6	8	1	0	17	69
	53.6%	8.7%	11.6%	1.4%	0.0%	24.6%	100.0%
冷暖房設備	31	11	9	0	0	18	69
	44.9%	15.9%	13.0%	0.0%	0.0%	26.1%	100.0%
室内環境 (広さ、照明)	33	7	9	1	0	19	69
	47.8%	10.1%	13.0%	1.4%	0.0%	27.5%	100.0%
院内の清潔	41	7	8	0	0	13	69
	59.4%	10.1%	11.6%	0.0%	0.0%	18.8%	100.0%

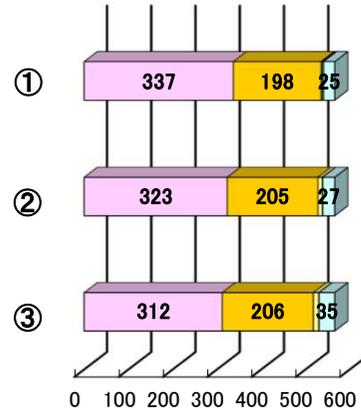


退院患者さんへのアンケート調査結果 (年間集計) 令和5年7月1日～令和6年3月31日

◎回答者数: 566名 ◎退院患者数: 871名 ◎全体回収率: 65.0%

Q1. 医師について

	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①マナー、身だしなみ等	337	198	3	3	25	566
	59.5%	35.0%	0.5%	0.5%	4.4%	100.0%
②不安や要望への返答	323	205	10	1	27	566
	57.1%	36.2%	1.8%	0.2%	4.8%	100.0%
③検査や治療の説明	312	206	12	1	35	566
	55.1%	36.4%	2.1%	0.2%	6.2%	100.0%



Q4. 他の職種のマナー・態度・身だしなみについて

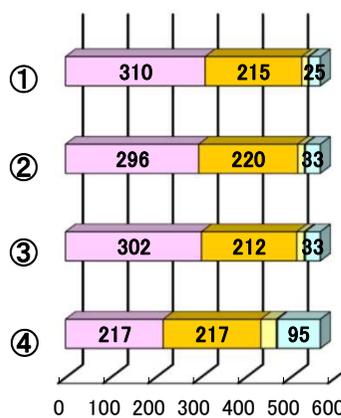
	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①検査技師	233	203	2	0	128	566
	41.2%	35.9%	0.4%	0.0%	22.6%	100.0%
②事務員	237	209	6	0	114	566
	41.9%	36.9%	1.1%	0.0%	20.1%	100.0%
③薬剤師	214	210	2	0	140	566
	37.8%	37.1%	0.4%	0.0%	24.7%	100.0%
④栄養士	207	205	7	0	147	566
	36.6%	36.2%	1.2%	0.0%	26.0%	100.0%
⑤医療相談員	245	190	3	0	128	566
	43.3%	33.6%	0.5%	0.0%	22.6%	100.0%

Q5. 設備について

	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①院内の清潔	280	183	7	1	95	566
	49.5%	32.3%	1.2%	0.2%	16.8%	100.0%
②室内環境	245	205	19	1	96	566
	43.3%	36.2%	3.4%	0.2%	17.0%	100.0%

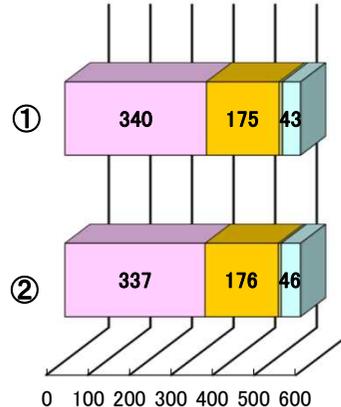
Q2. 看護師について

	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①マナー、身だしなみ等	310	215	14	2	25	566
	54.8%	38.0%	2.5%	0.4%	4.4%	100.0%
②不安や要望への返答	296	220	15	2	33	566
	52.3%	38.9%	2.7%	0.4%	5.8%	100.0%
③検査や治療の説明	302	212	16	3	33	566
	53.4%	37.5%	2.8%	0.5%	5.8%	100.0%
④ナースコールの対応	217	217	34	3	95	566
	38.3%	38.3%	6.0%	0.5%	16.8%	100.0%

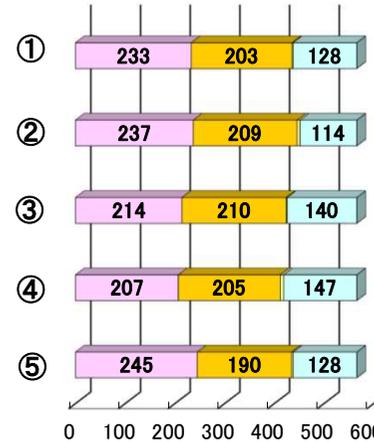


Q3. リハビリスタッフについて

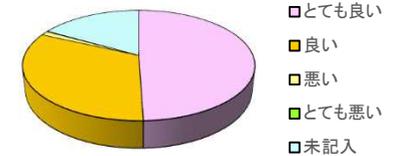
	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①マナー、身だしなみ等	340	175	7	1	43	566
	60.1%	30.9%	1.2%	0.2%	7.6%	100.0%
②不安や要望への返答	337	176	6	1	46	566
	59.5%	31.1%	1.1%	0.2%	8.1%	100.0%



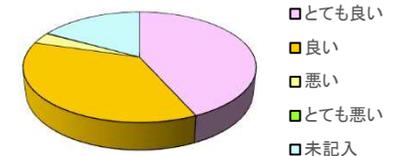
Q4.



Q5. ①



Q5. ②

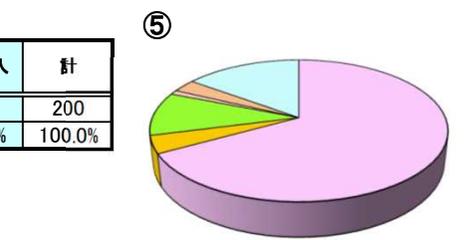
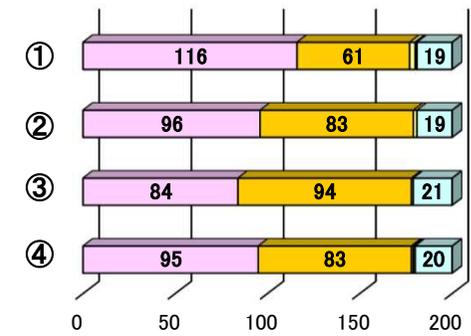
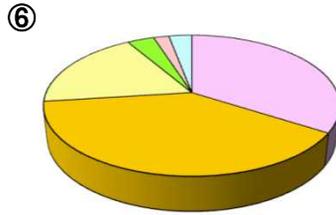
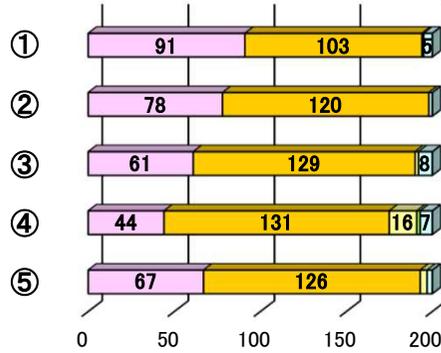


外来患者さんへのアンケート調査結果 (年間集計) 令和5年11月1日～令和6年3月31日

◎回答者数 200名

Q1. 病院について

	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①受診の流れ	91 45.5%	103 51.5%	1 0.5%	0 0.0%	5 2.5%	200
②院内の雰囲気 や快適性	78 39.0%	120 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.0%	200
③プライバシー の配慮	61 30.5%	129 64.5%	2 1.0%	0 0.0%	8 4.0%	200
④診察までの 待ち時間	44 22.0%	131 65.5%	16 8.0%	2 1.0%	7 3.5%	200
⑤診察後～会計 の待ち時間	67 33.5%	126 63.0%	4 2.0%	0 0.0%	3 1.5%	200



	30分未満	30分～ 1時間	1時間～ 1時間30分	1時間30分 ～2時間	2時間以上	未記入	計
⑥外来受付～ 診察の待ち時間	68 34.0%	78 39.0%	37 18.5%	7 3.5%	4 2.0%	6 3.0%	200

Q2. 医師について

	とても良い/ とても満足	良い/ まあまあ満足	悪い/ やや不満	とても悪い/ 不満	未記入	計
①医師の対応	116 58.0%	61 30.5%	3 1.5%	1 0.5%	19 9.5%	200
②不安や要望 への返答	96 48.0%	83 41.5%	2 1.0%	0 0.0%	19 9.5%	200
③検査や治療 の説明	84 42.0%	94 47.0%	1 0.5%	0 0.0%	21 10.5%	200
④質問・相談 のしやすさ	95 47.5%	83 41.5%	1 0.5%	1 0.5%	20 10.0%	200

	内科	脳外科	整形外科	脳神経内科	神経精神科	リハ科	未記入	計
⑤受診している科	134 67.0%	8 4.0%	0 0.0%	20 10.0%	2 1.0%	6 3.0%	30 15.0%	200

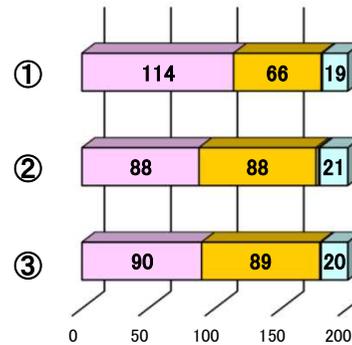
Q3. 看護師・看護助手について

	とても良い/ とても満足	良い/ まあまあ満足	悪い/ やや不満	とても悪い/ 不満	未記入	計
①看護師等 の対応	114 57.0%	66 33.0%	0 0.0%	1 0.5%	19 9.5%	200
②不安や要望 への返答	88 44.0%	88 44.0%	2 1.0%	1 0.5%	21 10.5%	200
③検査や治療 の説明	90 45.0%	89 44.5%	1 0.5%	0 0.0%	20 10.0%	200

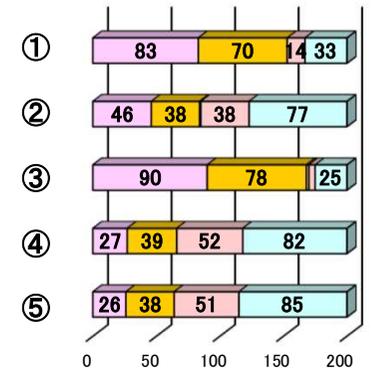
Q4. 他の職種のスタッフの対応について

	とても良い	良い	悪い	とても悪い	わからない	未記入	計
①検査技師	83 41.5%	70 35.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 7.0%	33 16.5%	200
②リハスタッフ	46 23.0%	38 19.0%	1 0.5%	0 0.0%	38 19.0%	77 38.5%	200
③事務員	90 45.0%	78 39.0%	2 1.0%	0 0.0%	5 2.5%	25 12.5%	200
④栄養士	27 13.5%	39 19.5%	0 0.0%	0 0.0%	52 26.0%	82 41.0%	200
⑤医療相談員	26 13.0%	38 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	51 25.5%	85 42.5%	200

Q3.



Q4.



レクリエーション委員会

1. 活動目的

本会は、一般財団法人黎明郷 職員間の交流を通じ、労働力の確保・定着・勤労意欲・能率の向上などの効果をもたらすことを目的とし、以下の活動をする。

- ・財団新入職員歓迎会に関すること。
- ・財団忘年会に関すること。
- ・ボウリング大会に関すること。
- ・その他、レクリエーション活動に関すること。

2. 構成員 ※令和6年3月末現在

委員長	清野 聡	(副院長)	
委員	川村 隆行	(診療放射線技師長)	小笠原 理沙 (管理栄養士)
	西澤 諒	(理学療法士)	古川 優希 (理学療法士)
	小田桐 史典	(看護師)	工藤 江里香 (看護師)
	秋元 桃子	(看護師)	対馬 舞希 (看護師)
	佐藤 和奏	(看護師)	滝吉 紅美 (看護師)
	相馬 晴美	(准看護師)	芳賀 沙織 (准看護師)
	佐々木 麻里	(看護助手)	後藤 拓哉 (庶務課主任代行)
	佐々木 静	(財務経理係)	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和5年4月10日	新入職員歓迎会の中止報告、納涼会開催可否の検討
2	令和5年5月8日	納涼会の開催決定報告
3	令和5年6月12日	納涼会の準備
4	令和5年7月10日	納涼会の準備
5	令和5年8月14日	納涼会(1回目)の報告、ボウリング大会の中止決定
6	令和5年9月11日	納涼会(2回目)の報告
7	令和5年10月16日	忘年会開催可否の検討
8	令和5年11月13日	忘年会の中止報告、中止に対する代替案の検討
9	令和5年12月11日	職員還元実施の報告、還元内容の検討
10	令和6年1月15日	職員還元内容等の報告、新入職員歓迎会実施可否の検討
11	令和6年2月19日	新入職員歓迎会の中止報告
12	令和6年3月11日	来年度委員会の日程・メンバー等の確認

4. 活動要約

新型コロナウイルス感染症が同年5月に5類感染症へ引き下げられたが、コロナ感染者発生による病院機能停止のリスクを考慮し、今年度も新人歓迎会・ボウリング大会および忘年会を中止した。代替案として、感染リスクの低い会場での納涼会(2日間開催)と職員還元企画を提案し、それぞれ実施した。

今後も世の中の状況に合わせた対応をレクリエーション委員会で慎重に検討・実施していく。

令和6年9月1日発行

【編集】弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 広報委員会

委員長	佐々木 都子 (内科部長)
委員	樋口 三枝子 (看護部長)
	算用子 暁美 (リハ部技師長)
	鳥谷部 翔 (薬剤師長)
	盛 啓介 (事務局係長)
	田中 結菜 (庶務課主任)